

(様式第10)

鹿大病総第384号
令和2年10月2日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人鹿児島大学
佐野 精

鹿児島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3第1項及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和元年度の業務に関して報告します。
記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒890-8580 鹿児島県鹿児島市郡元1丁目21番24号
氏 名	国立大学法人鹿児島大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

鹿児島大学病院

3 所在の場所

〒890-8520 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号	電話(099)275-5111
-------------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	④	無
内科と組み合わせた診療科名等		
①呼吸器内科	②消化器内科	③循環器内科
⑤神経内科	6血液内科	7内分泌内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	①リウマチ科
4腎臓内科		8代謝内科
診療実績		

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 ①呼吸器外科 ②消化器外科 3乳腺外科 4心臓外科 5血管外科 ⑥心臓血管外科 7内分泌外科 ⑧小児外科	
診療実績	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 ⑦産婦人科 ⑧産科 ⑨婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 ⑫放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 ⑬麻酔科 ⑭救急科
--

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 ①小児歯科 ②矯正歯科 ③口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 心療内科	2 リハビリテーション科	3 病理診断科	4	5	6		
7	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40床	1床	13床	0床	612床	666床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	233人	275人	429.2人	看 護 補 助 者	44人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	101人	32人	114.1人	理 学 療 法 士	21人	臨 床 検 査 技 師	51人
薬 剤 師	52人	1人	52.1人	作 業 療 法 士	11人	衛 生 検 査 技 師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	6人	そ の 他	2人
助 産 師	22人	2人	23.5人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	664人	37人	692.5人	臨 床 工 学 士	21人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	12人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	1人	そ の 他 の 技 術 員	26人
歯 科 衛 生 士	13人	2人	15人	歯 科 技 工 士	5人	事 務 職 員	171人
管理栄養士	9人	5人	14人	診 療 放 射 線 技 師	38人	そ の 他 の 職 員	101人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	57人	眼 科 専 門 医	10人
外 科 専 門 医	49人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	8人
精 神 科 専 門 医	10人	放 射 線 科 専 門 医	17人
小 児 科 専 門 医	15人	脳 神 経 外 科 専 門 医	13人
皮 膚 科 専 門 医	8人	整 形 外 科 専 門 医	14人
泌 尿 器 科 専 門 医	11人	麻 酔 科 専 門 医	15人
産 婦 人 科 専 門 医	15人	救 急 科 専 門 医	8人
		合 計	243人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (坂本 泰二) 任命年月日 令和2年4月1日

- ・副病院長 (医科担当) (平成29年度～令和元年度)
- ・医療安全管理委員会 委員 (平成29年度～令和元年度)
- ・感染症対策委員会 委員 (令和元年度)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	536.9人	24.5人	561.4人
1日当たり平均外来患者数	1120.2人	445.3人	1565.5人
1日当たり平均調剤数			1,090剤
必要医師数			124人
必要歯科医師数			8人
必要薬剤師数			19人
必要(准)看護師数			333人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	320 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	14床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 379 m ² [移動式の場合] 台数 1台		病床数	26床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 90 m ² [共用室の場合] 共用する室名		病棟薬剤業務管理室			
化学検査室	304m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) ディスク方式臨床化学自動分析装置、免疫比濁分析装置、免疫蛍光分析装置、免疫発光測定装置、蛋白分画電気泳動分析装置、グルコース分析装置、グリコヘモグロビン分析装置、血液計数装置、血液塗抹標本作製装置、フローサイトメータ			
細菌検査室	45m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 血液培養自動分析装置、遺伝子解析装置、嫌気培養装置、炭酸ガス培養装置、抗酸菌培養検査装置、微生物分類同定分析装置、微生物感受性分析装置、微生物由来成分分析装置、安全キャビネット			
病理検査室	118m ²	軽量鉄骨造	(主な設備) 密閉式自動固定包埋装置、パラフィン包埋ブロック作製装置、滑走式ミカトーム、自動染色装置、自動封入装置、自動免疫染色・ISH装置、凍結切片作製装置、集細胞遠心装置、顕微鏡、病理・細胞診検査業務支援システム、液状処理細胞診前処理装置			
病理解剖室	55m ²	軽量鉄骨造	(主な設備) ハイオクタード対応排気システム、排水蒸気滅菌処理システム			
研究室	8,026m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) ガスクロマトグラフ、電子顕微鏡			
講義室	655m ²	鉄筋コンクリート	室数	3室	収容定員	499人
図書室	1,980m ²	鉄筋コンクリート	室数	8室	蔵書数	174,000冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

	紹介率	81.7%	逆紹介率	69.4%
算出根拠	A: 紹介患者の数			15,989人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			14,497人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			1,065人
	D: 初診の患者の数			20,861人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
後 信	九州大学病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
玉利 尚大	玉利法律事務所		法律に関する識見を有する者	無	1
三好 綾	NPO法人 がんサポート かごしま		医療を受ける者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有 無
委員の選定理由の公表の有無	有 無
公表の方法 鹿児島大学ホームページにおいて公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	3人
腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	2人
糖鎖ナノテクノロジーを用いた高感度ウイルス検査	2人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)	1人
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 早期胃がん	1人
放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法 初発の中樞神経系原発悪性リンパ腫(病理学的見地からびまん性大細胞型B細胞リンパ腫であると確認されたものであって、原発部位が脳、小脳又は脳幹であるものに限る。)	1人
テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。)	0人
内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術 子宮頸がん	2人
水素ガス吸入療法 心停止後症候群(院外における心停止後に院外又は救急外来において自己心拍が再開し、かつ、心原性心停止が推定されるものに限る。)	1人
S-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 腹膜播種を伴う初発の胃がん	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	4	56	ベーチェット病	82
2	筋萎縮性側索硬化症	10	57	特発性拡張型心筋症	30
3	脊髄性筋萎縮症	22	58	肥大型心筋症	10
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	9	60	再生不良性貧血	23
6	パーキンソン病	78	61	自己免疫性溶血性貧血	6
7	大脳皮質基底核変性症	3	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0
8	ハンチントン病	1	63	特発性血小板減少性紫斑病	31
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	65	原発性免疫不全症候群	8
11	重症筋無力症	92	66	IgA腎症	23
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	32
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	60	68	黄色靱帯骨化症	12
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	13	69	後縦靱帯骨化症	79
15	封入体筋炎	2	70	広範脊柱管狭窄症	3
16	クロー・深瀬症候群	6	71	特発性大腿骨頭壊死症	42
17	多系統萎縮症	9	72	下垂体性ADH分泌異常症	16
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	36	73	下垂体性TSH分泌亢進症	6
19	ライゾーム病	13	74	下垂体性PRL分泌亢進症	15
20	副腎白質ジストロフィー	2	75	クッシング病	5
21	ミトコンドリア病	19	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1
22	もやもや病	44	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	33
23	プリオン病	2	78	下垂体前葉機能低下症	154
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	15	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	2
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	8	83	アジソン病	1
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	63
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	39
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	37
32	自己食食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	2
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	41
34	神経線維腫症	38	89	リンパ脈管筋腫症	2
35	天疱瘡	17	90	網膜色素変性症	49
36	表皮水疱症	0	91	パッド・キアリ症候群	1
37	膿疱性乾癬(汎発型)	17	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	16
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	1
40	高安動脈炎	18	95	自己免疫性肝炎	17
41	巨細胞性動脈炎	3	96	クローン病	64
42	結節性多発動脈炎	6	97	潰瘍性大腸炎	88
43	顕微鏡的多発血管炎	17	98	好酸球性消化管疾患	9
44	多発血管炎性肉芽腫症	10	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	14	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	9	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャー病	10	102	ルピンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	324	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	109	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	112	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
52	混合性結合組織病	38	107	若年性特発性関節炎	10
53	シェーグレン症候群	31	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	11	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	3	110	ブラウ症候群	2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
111 先天性ミオパチー	0	161 家族性良性慢性天疱瘡	0
112 マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	16
113 筋ジストロフィー	2	163 特発性後天性全身性無汗症	4
114 非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164 眼皮膚白皮症	0
115 遺伝性周期性四肢麻痺	0	165 肥厚性皮膚骨膜炎	0
116 アトピー性脊髄炎	0	166 弾性線維性仮性黄色腫	1
117 脊髄空洞症	1	167 マルフアン症候群	6
118 脊髄髄膜瘤	0	168 エーラス・ダンロス症候群	1
119 アイザックス症候群	5	169 メンケス病	0
120 遺伝性ジストニア	1	170 オクシピタル・ホーン症候群	0
121 神経フェリチン症	0	171 ウィルソン病	3
122 脳表ヘモジリン沈着症	0	172 低ホスファターゼ症	0
123 禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173 VATER症候群	0
124 皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	174 那須・ハコラ病	0
125 神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175 ウィーバー症候群	0
126 ベリー症候群	0	176 コフィン・ローリー症候群	1
127 前頭側頭葉変性症	0	177 ジュベール症候群関連疾患	0
128 ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178 モワット・ウィルソン症候群	0
129 痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179 ウィリアムズ症候群	0
130 先天性無痛無汗症	0	180 ATR-X症候群	0
131 アレキサンダー病	0	181 クルーゾン症候群	0
132 先天性核上性球麻痺	0	182 アペール症候群	0
133 メビウス症候群	0	183 ファイファー症候群	0
134 中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184 アントレー・ピクスラー症候群	0
135 アイカルディ症候群	0	185 コフィン・シリズ症候群	0
136 片側巨脳症	0	186 ロスムンド・トムソン症候群	0
137 限局性皮質異形成	0	187 歌舞伎症候群	0
138 神経細胞移動異常症	0	188 多脾症候群	1
139 先天性大脳白質形成不全症	0	189 無脾症候群	3
140 ドラベ症候群	0	190 鰓耳腎症候群	0
141 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191 ウェルナー症候群	1
142 ミオクロニー欠神てんかん	0	192 コケイン症候群	0
143 ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193 プラダー・ウィリ症候群	1
144 レノックス・ガスター症候群	0	194 ソス症候群	0
145 ウエスト症候群	1	195 ヌーナン症候群	0
146 大田原症候群	0	196 ヤング・シンプソン症候群	0
147 早期ミオクロニー脳症	0	197 1p36欠失症候群	0
148 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198 4p欠失症候群	0
149 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199 5p欠失症候群	0
150 環状20番染色体症候群	0	200 第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151 ラスムッセン脳炎	0	201 アンジェルマン症候群	1
152 PCDH19関連症候群	0	202 スミス・マギニス症候群	0
153 難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203 22q11.2欠失症候群	2
154 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204 エマヌエル症候群	0
155 ランドウ・クレフナー症候群	0	205 脆弱X症候群関連疾患	0
156 レット症候群	0	206 脆弱X症候群	0
157 スタージ・ウエーバー症候群	0	207 総動脈幹遺残症	0
158 結節性硬化症	4	208 修正大血管転位症	1
159 色素性乾皮症	2	209 完全大血管転位症	0
160 先天性魚鱗癬	0	210 単心室症	3

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	2	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	2	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	8	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	2	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	1	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	1	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	7	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	7
224	紫斑病性腎炎	3	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	6	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	1
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	1	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	1	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	1	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	2	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	3
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	1	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	2	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	2
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性降炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	16
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	1
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	1	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	0
			331	特発性多中心性キャッスルマン病	1
			332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
			333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・病棟薬剤業務実施加算2
・歯科外来診療環境体制加算2	・データ提出加算
・歯科診療特別対応連携加算	・入退院支援加算
・特定機能病院入院基本料	・精神疾患診療体制加算
・救急医療管理加算	・精神科急性期医師配置加算
・超急性期脳卒中加算	・救命救急入院料1
・診療録管理体制加算1	・特定集中治療室管理料1
・医師事務作業補助体制加算1	・新生児特定集中治療室管理料1
・急性期看護補助体制加算	・小児入院医療管理料2
・看護職員夜間配置加算	・回復期リハビリテーション病棟入院料3
・看護補助加算	・短期滞在手術等基本料2
・療養環境加算	・入院時食事療養/生活療養(I)
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1	・
・無菌治療室管理加算2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・病棟薬剤業務実施加算1	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・ウイルス疾患指導料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・糖尿病合併症管理料	・遺伝学的検査
・がん性疼痛緩和指導管理料	・有床義歯咀嚼機能検査1のイ
・がん患者指導管理料イ	・有床義歯咀嚼機能検査1のロ及び咀嚼能力検査
・がん患者指導管理料ロ	・有床義歯咀嚼機能検査2のイ
・がん患者指導管理料ハ	・有床義歯咀嚼機能検査2のロ及び咬合圧検査
・がん患者指導管理料ニ	・精密触覚機能検査
・外来緩和ケア管理料	・骨髄微小残存病変量測定
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・BRCA1/2遺伝子検査
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・がんゲノムプロファイリング検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・先天性代謝異常症検査
・小児運動器疾患指導管理料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・婦人科特定疾患治療管理料	・検体検査管理加算(I)
・外来放射線照射診療料	・検体検査管理加算(IV)
・ニコチン依存症管理料	・国際標準検査管理加算
・がん治療連携計画策定料	・遺伝カウンセリング加算
・肝炎インターフェロン治療計画料	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・ハイリスク妊産婦連携指導料2	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・薬剤管理指導料	・胎児心エコー法
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・医療機器安全管理料1	・ヘッドアップティルト試験
・医療機器安全管理料2	・人工膵臓検査、人工膵臓療法
・医療機器安全管理料(歯科)	・長期継続頭蓋内脳波検査

・長期脳波ビデオ同時記録検査1	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・脳波検査判断料1	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・神経学的検査	・がん患者リハビリテーション料
・補聴器適合検査	・集団コミュニケーション療法料
・ロービジョン検査判断料	・歯科口腔リハビリテーション料2
・コンタクトレンズ検査料1	・救急患者精神科継続支援料
・内服・点滴誘発試験	・認知療法・認知行動療法1
・経気管支凍結生検法	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・画像診断管理加算3	・医療保護入院等診療料
・歯科画像診断管理加算1	・口腔粘膜処置
・歯科画像診断管理加算2	・レーザー機器加算
・ポジトロン断層撮影	・エタノールの局所注入(甲状腺)
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・エタノールの局所注入(副甲状腺)
・CT撮影及びMRI撮影	・導入期加算1
・冠動脈CT撮影加算	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・手術用顕微鏡加算
・外傷全身CT加算	・う蝕歯無痛的窩洞形成加算
・心臓MRI撮影加算	・心不全に対する遠赤外線温熱療法
・乳房MRI撮影加算	・CAD/CAM冠
・小児鎮静下MRI撮影加算	・手術時歯根面レーザー応用加算
・頭部MRI撮影加算	・歯科技工加算1及び2
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・センチネルリンパ節加算
・外来化学療法加算1	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・無菌製剤処理料	・椎間板内酵素注入療法
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・角膜移植術(内皮移植加算)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)

・網膜再建術	・大動脈バルーンパンピング法 (IABP法)
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・経皮的循環補助法 (ポンプカテーテルを用いたもの)
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術 V 型 (拡大副鼻腔手術)	・補助人工心臓
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術 (軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・経皮的下肢動脈形成術
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術 (傍大動脈)
・喉頭形成手術 (甲状軟骨固定用器具を用いたもの)	・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等
・上顎骨形成術 (骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術 (骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術 (内視鏡処置を併施するもの)
・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘 (亜全摘) 術 (両葉)、内視鏡下副甲状腺 (上皮小体) 腺腫過形成手術	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術	・胆管悪性腫瘍手術 (膵頭十二指腸切除及び肝切除 (葉以上) を伴うものに限る。)
・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 (一連につき) (MRI によるもの)	・腹腔鏡下肝切除術
・乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検 (併用)	・生体部分肝移植術
・乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検 (単独)	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術
・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 (区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下直腸切除・切断術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 (肺葉切除又は 1 肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下腎盂形成手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・食道縫合術 (穿孔、損傷) (内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、等	・腎腫瘍凝固・焼灼術 (冷凍凝固によるもの)
・経皮的冠動脈形成術 (特殊カテーテルによるもの)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・経カテーテル大動脈弁置換術	・同種死体腎移植術
・経皮的中隔心筋焼灼術	・生体腎移植術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・膀胱水圧拡張術
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・画像誘導放射線治療 (IGRT)
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・体外照射呼吸性移動対策加算
・人工尿道括約筋植込・置換術	・定位放射線治療
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・画像誘導密封小線源治療加算
・腹腔鏡下腔式子宮全摘術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・保険医療機関間の連携による病理診断
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 (子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 (子宮体がんに限る。)	・病理診断管理加算 2

・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	・デジタル病理画像による病理診断
・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・輸血管理料Ⅱ	・口腔病理診断管理加算2
・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・同種クリオプレシピテート作製術	・歯科矯正診断料
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	
・歯周組織再生誘導手術	
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
・歯根端切除手術の注3	
・麻酔管理料(Ⅰ)	
・麻酔管理料(Ⅱ)	
・歯科麻酔管理料	
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・1回線量増加加算	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術	・
・腹腔鏡下広汎子宮全摘術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	140
剖検の状況	剖検症例数 13 例 / 剖検率 7.2 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
有棘赤血球舞踏病とマイトファジー 分子レベルの病態機序解明と神経変性予防法の開発	佐野 輝	学長	1,700,000	補○ 委 日本学術振興会
高齢者の認知機能低下に配慮した至適血圧域の解明:老年期にある健常者と軽度認知機能低下患者を対象とした、認知機能保持ないしその改善を最終目的とした、適切な血圧管理法に関する研究	大石 充	心臓血管内科	1,000,000	補 委○ 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
垂水市在住一般住民における前向きコホート研究	大石 充	心臓血管内科	470,250	補 委○ 垂水市
Fabry病における遺伝子型と表現型の関係の評価	大石 充	心臓血管内科	2,000,000	補 委○ えびの市
地域住民における脳血管疾患発症に対して効果的な血圧管理についての検討	大石 充	心臓血管内科	2,200,000	補 委○ 枕崎市立病院
Fabry病における遺伝子型と表現型の関係の評価	大石 充	心臓血管内科	1,700,000	補 委○ 垂水中央病院
Fabry病における遺伝子型と表現型の関係の評価	大石 充	心臓血管内科	750,000	補 委○ 肝属郡医師会立病院
フレイルと心不全の相互関連因子探索と心臓リハビリテーションの有効性に関する研究	窪 琢郎	心臓血管内科	700,000	補○ 委 日本学術振興会
次世代シーケンサーによる家族性肺高血圧症の遺伝子解析:特発性肺高血圧症の機序解明	田中 佳代子	心臓血管内科	800,000	補○ 委 日本学術振興会
オルタナティブオートファジーとマクロファージを標的としたサルコペニア治療法の確立	池田 義之	心臓血管内科	800,000	補○ 委 日本学術振興会
ミトコンドリアダイナミクスとオートファジーを標的としたサルコペニアの新規治療法	赤崎 雄一	心臓血管内科	1,100,000	補○ 委 日本学術振興会
Fabry病の新規αガラクトシダーゼ遺伝子変異による酵素の生体内動態に関する研究	樋口 公嗣	心臓血管内科	1,100,000	補○ 委 日本学術振興会
心房細動患者の認知症予防に関する研究-脳血管障害・血管内皮機能障害との関連-	市来 仁志	心臓血管内科	800,000	補○ 委 日本学術振興会
小児心臓手術の人工心肺が活性化白血球を介して全身へ与える影響の分子メカニズム解明	井本 浩	心臓血管外科	1,100,000	補○ 委 日本学術振興会
大動脈弁狭窄症における炎症、石灰化、凝固能に関するマイクロRNA、エクソソームの解析	井本 浩	心臓血管外科	1,000,000	補 委○ 肝属郡医師会立病院
大動脈弁狭窄症におけるエクソソームが石灰化、病態に与える影響の解析	上田 英昭	心臓血管外科	600,000	補○ 委 日本学術振興会
非切除膵癌を対象とした腫瘍溶解性ウイルスの腫瘍内局所投与療法の有効性と安全性に関する医師主導治験	井戸 章雄	消化器内科	58,485,700	補 委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
傷害肝の修復におけるマクロファージの代謝スイッチと線維形成・吸収の制御機構の解明	井戸 章雄	消化器内科	1,000,000	補○ 委 日本学術振興会
生活習慣病が消化器疾患や腎疾患の病態進展に及ぼす影響に関する研究	井戸 章雄	消化器内科	1,000,000	補 委○ 国民健康保険 高原病院
高フルクトース食による腸内細菌叢構成異常が肝炎症や発癌、癌進展に及ぼす影響の解析	田ノ上 史郎	消化器内科	900,000	補○ 委 日本学術振興会

C型肝炎ウイルス直接作用薬治療不成功に関連する新たな薬剤耐性変異の機能解析	馬渡 誠一	消化器内科	1,500,000	補委	日本学術振興会
粘膜下層剥離面治療を促進するHGF含浸外用剤の開発	佐々木 文郷	消化器内科	1,500,000	補委	日本学術振興会
再発危険因子を有するハイリスクStage II 結腸がん治療切除例に対する術後補助化学療法としてのm FOLFOX6療法またはXELOX療法の至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験	夏越 祥次	消化器外科	32,400	補委	公益財団法人がん集学的治療研究財団
食道癌患者へのDCF療法時における成分栄養剤の口腔粘膜炎抑制作用の検討—エレンタール非投与群を対照群としたランダム化第III相比較臨床研究	夏越 祥次	消化器外科	54,000	補委	公益財団法人がん集学的治療研究財団
サルコペニアと門脈塞栓術後代償性肝肥大率の関連性についての検討	夏越 祥次	消化器外科	2,000,000	補委	えびの市
上部消化器癌の微量癌細胞解析を用いた治療選択への応用	夏越 祥次	消化器外科	2,900,000	補委	日本学術振興会
癌の進展に対する診断の精度向上に関する研究	夏越 祥次	消化器外科	2,000,000	補委	国民健康保険 高原病院
膵癌術後肺転移再発に対する適切な治療戦略の開発	夏越 祥次	消化器外科	4,000,000	補委	小林市立病院
膵癌に対する化学放射線療法の治療効果予測に関する研究	夏越 祥次	消化器外科	1,200,000	補委	垂水中央病院
個別化対応型可動モジュール式内視鏡外科訓練装置の開発と訓練システムの構築	前村 公成	消化器外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
血中循環腫瘍細胞を標的としたがん免疫療法効果予測バイオマーカーの開発と臨床応用	有上 貴明	消化器外科	1,400,000	補委	日本学術振興会
内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術における根治性・安全性の向上に関する研究	中条 哲浩	消化器外科	500,000	補委	日本学術振興会
膵臓癌の転移能および治療抵抗性獲得のメカニズム解析と新規治療法の開発	藏原 弘	消化器外科	1,500,000	補委	日本学術振興会
膵癌肝転移抑制因子ITIH5の肝転移抑制機構の解明と治療への応用	佐々木 健	消化器外科	900,000	補委	日本学術振興会
食道扁平上皮癌・機能性RNA統合理解に基づく治療抵抗性分子機序の解明	和田 真澄	消化器外科	1,100,000	補委	日本学術振興会
トリプリネガティブ乳癌・機能性RNA統合理解による治療標的分子経路の解明	戸田 洋子	消化器外科	1,500,000	補委	日本学術振興会
大腸癌・機能性RNAネットワーク探索に基づく診断および治療標的分子の同定	吉満 工平	消化器外科	900,000	補委	日本学術振興会
膵臓癌・機能性RNA発現解析に基づく、局所浸潤・遠隔転移に関わる分子経路の探索	伊地知 徹也	消化器外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
SNPアレイおよびctDNAバーコードシーケンスを用いた食道早期がん診断法の確立	鶴田 祐介	消化器外科	1,500,000	補委	日本学術振興会
Charcot-Marie-Tooth病の分子遺伝学的アプローチによる病態解明	高嶋 博	脳神経内科	4,200,000	補委	日本学術振興会
難治性神経疾患における免疫病態の解明と診断・治療法開発	高嶋 博	脳神経内科	500,000	補委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
自己免疫性脳炎・脳症に関する研究	高嶋 博	脳神経内科	1,300,000	補委	出水市病院事業
神経感染症における網羅的遺伝子解析技術の発展	高嶋 博	脳神経内科	400,000	補委	垂水中央病院
神経感染症における網羅的遺伝子解析技術の発展	高嶋 博	脳神経内科	1,000,000	補委	肝属郡医師会立病院
遅発型慢性経過SMA患者の歩行機能に対するヌシネルセン(スピンラザⓇ髄注12mg)の治療効果に関する観察研究(前向きおよび後向き多施設共同観察研究)	橋口 昭大	脳神経内科	370,040	補委	国立病院機構新潟病院

小計25件

原因不明脳炎の感染症診断に貢献するショットガンメタゲノム解析の新しい研究	崎山 佑介	脳神経内科	800,000	補○ 委	日本学術振興会
膠芽腫におけるHDAC7発現の機能的意義の解明と標的療法の確立	吉本 幸司	脳神経外科	500,000	補○ 委	日本学術振興会
遊離脂肪酸受容体FFAR1は慢性疼痛に伴ううつ症状発症に関与するののか?	大吉 達樹	脳神経外科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
脂質代謝とヒストン脱メチル化酵素LSD1に着目した新たな膠芽腫増殖制御機構の解明	坂元 顕久	脳神経外科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
glioblastomaにおけるFMNL1を中心とした新規浸潤・遊走機構の解明	比嘉 那優大	脳神経外科	1,800,000	補○ 委	日本学術振興会
新規脂質代謝酵素に注目した気管支喘息の病態解析	井上 博雅	呼吸器内科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
重症喘息およびCOPD患者の地域特性に関連したコホート研究	井上 博雅	呼吸器内科	1,300,000	補○ 委	出水市病院事業
治療抵抗性小細胞肺癌における機能性RNA統合理解を目指した分子探索	井上 博雅	呼吸器内科	300,000	補○ 委	垂水中央病院
新規の肺癌診断マーカーの開発	井上 博雅	呼吸器内科	750,000	補○ 委	肝属郡医師会立病院
フェノタイプ・エンドタイプに着目した本邦の喘息患者における3年間予後の検討	町田 健太郎	呼吸器内科	168,480	補○ 委	独立行政法人国立病院機構東京病院
小細胞肺癌の機能性RNA統合解析に基づくドラッグ・リポジショニングの考案	水野 圭子	呼吸器内科	1,500,000	補○ 委	日本学術振興会
呼吸器疾患難治化におけるホスホリパーゼA2/リリン脂質ネットワークの役割の解析	渡辺 正樹	呼吸器内科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
機能性RNA統合理解に基づく間質性肺炎合併肺癌の分子経路探索と新規治療法の開発	眞田 宏樹	呼吸器内科	3,000,000	補○ 委	日本学術振興会
マイクロRNAを起点とした肺扁平上皮癌に関する分子経路と新規治療法の探索研究	内田 章文	呼吸器内科	1,600,000	補○ 委	日本学術振興会
機能性RNA統合理解に基づく治療抵抗性小細胞肺癌に関わる分子経路の探索	美園 俊祐	呼吸器内科	1,800,000	補○ 委	日本学術振興会
肺癌抗体治療のターゲット分子におけるスプライス異常と効果の分子生物学的相関研究	佐藤 雅美	呼吸器外科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
非小細胞肺癌に対する根治切除としての肺葉切除におけるen blocリンパ節廓清の安全性の検討	佐藤 雅美	呼吸器外科	300,000	補○ 委	垂水中央病院
左肺上葉切除術後の左上肺静脈断端の血栓形成の原因検索および予防に関する研究	梅原 正	呼吸器外科	600,000	補○ 委	日本学術振興会
食行動異常のメカニズム解明・新規治療法開発-骨髄由来細胞からのアプローチ-	浅川 明弘	心身医療科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
多面的アプローチによる尿路上皮癌における抗癌剤耐性機序の解明	中川 昌之	泌尿器科	1,900,000	補○ 委	日本学術振興会
マイクロRNAによる新規泌尿器癌治療の開発のためのin vivo実験(継続)	中川 昌之	泌尿器科	4,000,000	補○ 委	小林市立病院
多面的アプローチによる膀胱癌のプライマリーレジスタンスを予測するマーカーの開発	中川 昌之	泌尿器科	300,000	補○ 委	垂水中央病院
マイクロRNAによる新規泌尿器癌治療の開発のためのin vivo実験(継続)	中川 昌之	泌尿器科	2,000,000	補○ 委	肝属郡医師会立病院
ゲノム編集技術による癌促進型マイクロRNAの機能解析と革新的膀胱癌治療法の開発	榎田 英樹	泌尿器科	3,900,000	補○ 委	日本学術振興会
高分子ナノミセルに搭載した癌抑制マイクロRNAによる膀胱癌の新規核酸医薬の開発	山田 保俊	泌尿器科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会

小計25件

セリン合成経路の新規膀胱癌治療標的としての可能性とその発現機構の解明	吉野 裕史	泌尿器科	2,000,000	補 委○	公益財団法人 武田科学振興財団
ユビキチンプロテアソーム経路を標的とした進行性腎細胞癌に対する新規治療戦略の構築	吉野 裕史	泌尿器科	1,700,000	補 委○	日本学術振興会
治療抵抗性腎癌におけるプロモドメイン蛋白による制癌機序の解明	坂口 大	泌尿器科	1,600,000	補 委○	日本学術振興会
多面的アプローチによる膀胱癌のGCプライマリレジスタンスを予測するマーカーの開発	米森 雅也	泌尿器科	1,800,000	補 委○	日本学術振興会
成人T細胞白血病・リンパ腫に対する抗アポトーシス蛋白を標的とする新規治療開発	石塚 賢治	血液・膠原病内科	1,400,000	補 委○	日本学術振興会
本態性血小板血症におけるnon-canonical変異の同定	石塚 賢治	血液・膠原病内科	300,000	補 委○	垂水中央病院
ATLにおける慢性活性化T細胞受容体経路を標的とした創薬基盤の構築	吉満 誠	血液・膠原病内科	1,100,000	補 委○	日本学術振興会
電子カルテ情報活用型多施設データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	300,000	補 委○	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
免疫チェックポイント阻害薬ニボルマブが誘発する1型糖尿病、間質性肺疾患の発症に関連する原因遺伝子多型・変異の探索的研究	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	1,080,000	補 委○	国立大学法人長崎大学
肥満合併境界型糖尿病へのボグリボースによる介入	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	1,300,000	補 委○	出水市病院事業
枕崎地区における糖尿病重症化予防に関する研究	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	1,100,000	補 委○	枕崎市立病院
肥満合併境界型耐糖能異常症例へのボグリボースによる介入	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	500,000	補 委○	垂水中央病院
肥満合併境界型糖尿病へのボグリボースによる介入	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	250,000	補 委○	肝属郡医師会立病院
消化器癌個別化治療にむけた3D培養と共培養を用いた癌組織不均一性の基礎研究	喜多 芳昭	乳腺・甲状腺外科	1,100,000	補 委○	日本学術振興会
神経有棘赤血球症の共通分子病態の解析	中村 雅之	神経科精神科	1,000,000	補 委○	日本学術振興会
22q11.2欠失症候群患者における薬剤性パーキンソニズムの発症機序解明	林 岳宏	神経科精神科	300,000	補 委○	日本学術振興会
Choreinの細胞死調整機構への関わりに関する研究	佐々木 なつき	神経科精神科	500,000	補 委○	日本学術振興会
成人発症白質脳症における包括的変異解析及び抽出した新規変異の機能解析	石塚 貴周	神経科精神科	2,400,000	補 委○	日本学術振興会
出水地区における小児疾患の予防策と治療成績の向上に関する研究	河野 嘉文	小児科	2,600,000	補 委○	出水市病院事業
枕崎地区における小児予防接種率向上と小児医療体制充実に関する研究	河野 嘉文	小児科	1,100,000	補 委○	枕崎市立病院
アジア協同基盤を用いた分類系統不明瞭な白血病(ALAL)に対する標準治療の開発	岡本 康裕	小児科	19,500,000	補 委○	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
DCKプロモーターの脱メチル化によるネララビン耐性機構の解明と耐性予防法の確立	岡本 康裕	小児科	900,000	補 委○	日本学術振興会
microRNA-223 derived from platelets aggravate podocyte damage in nephrotic syndrome.	宮園 明典	小児科	1,000,000	補 委○	日本学術振興会
フォンタン循環における肺動静脈瘻の機序解明	川村 順平	小児科	500,000	補 委○	公益財団法人 森永奉仕会
壊死性腸炎に対するグレリンを用いた発症メカニズム解明と革新的新規予防治療法の開発	町頭 成郎	小児外科	900,000	補 委○	日本学術振興会

小計25件

広範囲腸管切除後の腸管不全関連肝障害の実験的病態解明と新規治療法への展開	向井 基	小児外科	600,000	補○ 委	日本学術振興会
拡散強調MRIテンソル解析による中枢神経発達を見据えた小児短腸患者新規栄養法開発	春松 敏夫	小児外科	1,500,000	補○ 委	日本学術振興会
縫合不全"O"を実現する高難度肝胆膵内視鏡外科手術シミュレータ開発	山田 耕嗣	小児外科	1,500,000	補○ 委	日本学術振興会
IFALDの病態解明に基づく大建中湯を用いた新規治療法の開発	矢野 圭輔	小児外科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
高度腫瘍移行性と低毒性を可能としたナノメディシン抗がん剤の婦人科腫瘍における検討	小林 裕明	産科、婦人科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
早期子宮体癌ロボット支援手術におけるセンチネルリンパ節生検の有用性の検討	小林 裕明	産科、婦人科	1,300,000	補 委○	出水市病院事業
婦人科癌手術の個別化医療に向けたセンチネルリンパ節理論の解明と分子病理診断の応用	戸上 真一	産科、婦人科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
婦人科癌へのHPMA-ZnPPを用いた光線力学的治療の臨床応用に向けた検討	築詰 伸太郎	産科、婦人科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
筋内脂肪浸潤と異所性骨化を決定するメカニズムの解明	谷口 昇	整形外科・リウマチ外科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
骨肉腫に対する化学療法増感剤のスクリーニング研究	谷口 昇	整形外科・リウマチ外科	4,000,000	補 委○	小林市立病院
難病脊椎後縦靭帯骨化症原因候補遺伝子CDC5Lの機能解析	谷口 昇	整形外科・リウマチ外科	500,000	補 委○	肝属郡医師会立病院
後縦靭帯骨化症関連遺伝子CDC5Lの機能～新たな骨芽細胞コミットメント機構解明	富永 博之	整形外科・リウマチ外科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
軟骨肉腫鑑別分子マーカーとしての尿素輸送体UT-Bの発現・機能解析	佐々木 裕美	整形外科・リウマチ外科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
β -catenin類似分子CTNBL1の骨芽細胞分化選別機能の解析	河村 一郎	整形外科・リウマチ外科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
CD147/basiginのTh細胞分化と乾癬病態形成に関する包括的研究	金蔵 拓郎	皮膚科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
HDAC阻害剤によるチロシンキナーゼの活性化とCTCLの新規治療への応用	藤井 一恭	皮膚科	1,600,000	補○ 委	日本学術振興会
末梢血TCRV $\delta 1+\gamma \delta$ T細胞のCD107a発現に着目した円形脱毛症の病態解明	内田 洋平	皮膚科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
痒疹の発症における皮膚 $\gamma \delta$ T細胞の役割～2型・17型免疫応答の協働～	指宿 敦子	皮膚科	1,600,000	補○ 委	日本学術振興会
Carma1 L815P-Kiマウスにおける皮膚炎発症のメカニズムの解明	野元 裕輔	皮膚科	1,700,000	補○ 委	日本学術振興会
硝子体学の発展的研究	坂本 泰二	眼科	4,500,000	補○ 委	日本学術振興会
北薩地区における成人眼疾患の概要	坂本 泰二	眼科	1,300,000	補 委○	出水市病院事業
垂水地区における小中学生の眼疾患の疫学的調査	坂本 泰二	眼科	800,000	補 委○	垂水中央病院
鹿児島県内(おもに肝付地区)の眼科疾患の研究	坂本 泰二	眼科	500,000	補 委○	肝属郡医師会立病院
HTLV-1関連眼疾患の診断法確立のための臨床的研究	中尾 久美子	眼科	800,000	補 委	日本学術振興会
眼軸長伸長に伴う眼底微細構造変化の解明	山下 高明	眼科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会

小計25件

ヒト極性網膜色素上皮細胞を用いた上皮間葉転換早期の病態解明	寺崎 寛人	眼科	800,000	補 委	日本学術振興会
定量眼科学による加齢黄斑変性症の病態解明	椎原 秀樹	眼科	2,300,000	補 委	日本学術振興会
新規粘膜アジュバントを用いた広域スペクトラムワクチンの開発に関する研究	黒野 祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,600,000	補 委	日本学術振興会
鹿児島県内の小中学生における耳鼻咽喉科疾患の疫学的調査研究	黒野 祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	569,800	補 委	西之表市
垂水市内の小中学生における耳鼻咽喉科疾患の疫学的調査研究	黒野 祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	226,340	補 委	垂水市
頭頸部がんにおけるTILs (Tumor-infiltrating lymphocytes)の予後因子としての意義	黒野 祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	600,000	補 委	垂水中央病院
屋久島町における耳鼻咽喉科疾患の疫学的調査	黒野 祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	732,000	補 委	屋久島町
鼻咽腔関連リンパ組織(NALT)の免疫記憶機能を応用した新規粘膜ワクチンの開発	大堀 純一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	900,000	補 委	日本学術振興会
ホスホリルコリンによる細菌感染とアレルギー性炎症の制御に関する研究	川島 雅樹	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
ホスホリルコリン経鼻免疫追加によるあらたな肺炎球菌ワクチン接種プログラムの開発	間世田 佳子	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	900,000	補 委	日本学術振興会
高分解能エネルギー代謝MRイメージング法の開発と脳腫瘍への応用	吉浦 敬	放射線科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
MRI-based assessment of the risk factor for hepatocellular carcinoma of chronic hepatitis type C after anti-viral therapy	福倉 良彦	放射線科	176,000	補 委	国立大学法人山梨大学
血行再建術後の脳機能再構築:マルチパラメトリックMRIに基づく画像マーカーの創設	上村 清央	放射線科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
細胞内タンパク画像化に基づく脳発達および新生児脳障害の定量的評価法の開発	米山 知秀	放射線科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
MRIpHイメージングによる運動器カテーテル塞栓療法の治療効果予測法の開発	林 完勇	放射線科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
18F-FDGの速度定数画像に基づく心サルコイドーシスの活動性評価法の開発	中條 正豊	放射線科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
子宮腫瘍におけるAACID imagingの有用性の検討	熊谷 雄一	放射線科	0	補 委	日本学術振興会
抗癌剤分布を可視化するchemoCESTの開発と頭頸部悪性腫瘍への応用	内匠 浩二	放射線科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
放射線治療の予後判定の可能性(放射線抵抗性の獲得と癌の浸潤・転移との関連性)	犬童 寛子	顎顔面放射線科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
パラメトリックエックス線、テラヘルツコヒーレント放射光を用いた悪性腫瘍の画像診断	川島 雄介	顎顔面放射線科	700,000	補 委	日本学術振興会
敗血症性腎障害におけるアドレナリン受容体の関与	上村 裕一	麻酔科	900,000	補 委	日本学術振興会
周期期の免疫活性と術後痛の関連性に関する研究	長谷川 麻衣子	麻酔科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
インビボ神経活動イメージングを用いた蘇生後脳症における鎮静薬の脳保護効果の検討	中原 真由美	麻酔科	2,300,000	補 委	日本学術振興会
オプトジェネティクスをもちいた麻酔薬による術後認知障害の機序の解明	向原 桂香	麻酔科	1,700,000	補 委	日本学術振興会
慢性疼痛における痛覚伝導路でのヘム・オキシゲナーゼの鎮痛・発痛効果の検討	五代 幸平	麻酔科	1,300,000	補 委	日本学術振興会

小計25件

バイオマーカー、心拍変動解析および加速度脈波を用いた左室拡張機能の推定法の確立	梶谷 淳	歯科麻酔科	2,100,000	補○ 委	日本学術振興会
加齢と全身麻酔が体内時計に与える影響; 遺伝子改変マウスを用いた時間生物学的解析	佐古 沙織	歯科麻酔科	800,000	補○ 委	日本学術振興会
聴覚を介する自律神経活動制御法の確立 一時計遺伝子欠損マウスでの検討と臨床応用	山下 薫	歯科麻酔科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
ラット三叉神経節における感覚モダリティの三次元分布の提供	千堂 良造	歯科麻酔科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
脳卒中回復期患者に対する機能的電気刺激装置を用いたリハビリテーションの歩行能力改善に関する医師主導臨床研究 (RALLY)	下堂 菌 恵	リハビリテーション科	432,000	補○ 委	公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構
脳損傷後の運動障害に対して多様な物理的刺激を応用した新しいリハビリ技術の開発	下堂 菌 恵	リハビリテーション科	600,000	補○ 委	日本学術振興会
摂食嚥下障害に対する神経筋電気刺激の安全性および効果の検討: 介入前後比較試験	下堂 菌 恵	リハビリテーション科	300,000	補○ 委	垂水中央病院
視覚反復刺激療法と大脳刺激による視野障害の治療法の開発と臨床応用	衛藤 誠二	リハビリテーション科	0	補○ 委	日本学術振興会
脳卒中による神経因性膀胱の病態解明と経皮的干渉波刺激を用いた非侵襲的治療開発	大瀧 倫太郎	リハビリテーション科	1,800,000	補○ 委	日本学術振興会
口腔細菌による動脈硬化発症における先天性免疫因子gp-340の機能解析	於保 孝彦	口腔保健科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
口腔常在菌による誤嚥性肺炎発症機構の分子的解析と宿主リスク評価法	山口 泰平	口腔保健科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
口腔バイオフィルムによる動脈硬化誘発機序の解明 一菌種の多様性が導く病原性	長田 恵美	口腔保健科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
インプラント体周囲組織再生部のin situ bacteriologyの融合	藤島 慶	口腔保健科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
不正咬合に起因する“顎口腔サルコペニア”の実態と内分泌・免疫系因子との関連	前田 綾	矯正歯科	0	補○ 委	日本学術振興会
炎症性メディエーターの動態が食道知覚の変化とブラキシズムの発症に与える影響の解明	前田 綾	矯正歯科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
消化管運動促進薬とH2ブロッカーによる咀嚼筋障害に対する治療効果の検討	大賀 泰彦	矯正歯科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
脳腸モデルによる迷走神経の活性化を応用したブラキシズムの根本療法開発への基盤研究	菅 真有	矯正歯科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
胃内と口腔内の常在細菌叢、ブラキシズム及び胃食道逆流との関連性の解明	丸谷 佳菜子	矯正歯科	1,600,000	補○ 委	日本学術振興会
ストレスが食道の知覚過敏と覚醒時ブラキシズムに及ぼす影響の解明	福嶋 美佳	矯正歯科	1,700,000	補○ 委	日本学術振興会
抑制系とシナプス刈り込みを介した咀嚼筋痛障害の原因の解明	古川 みなみ	矯正歯科	1,900,000	補○ 委	日本学術振興会
長鎖非コードRNA「UCA1」の骨形成における機能解析	石川 崇典	矯正歯科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
小児の睡眠無呼吸時に変動する通気障害部位を検出可能にする気道流体解析モデルの構築	山崎 要一	小児歯科	800,000	補○ 委	日本学術振興会
小児OSASの新技術で構築された3次元睡眠呼吸モデルによる原因部位の特定	岩崎 智憲	小児歯科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
遺伝子工学的的手法による乳歯歯髄細胞からの体性幹細胞単離とその特性解析	稲田 絵美	小児歯科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
口腔筋機能療法の小児閉塞性睡眠時無呼吸への有効性が検出可能な流体音響解析法の開発	菅 北斗	小児歯科	700,000	補○ 委	日本学術振興会

小計25件

ダウン症児OSASの原因部位特定と上顎側方拡大・MFT併用療法の有効性の検討	橋口 真紀子	小児歯科	600,000	補○ 委	日本学術振興会
最適化医療を実現する小児の口呼吸鑑別診断システムの構築	村上 大輔	小児歯科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
流体解析を用いた口唇口蓋裂児の鼻腔通気障害改善方法の確立	伴 祐輔	小児歯科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
接着性覆髄剤を応用した新たなコンポジットレジン修復法の開発	西谷 佳浩	保存科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
2019年度「日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)」(科学技術体験コース・S2019F0603422)	西谷 佳浩	保存科	1,155,000	補○ 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
白金ナノコロイドを応用した1ステップアドヒーズの脱灰象牙質接着性の向上	勝俣 愛一郎	保存科	1,700,000	補○ 委	日本学術振興会
放射線耐性は膜の状態によって規定されるか?-臨床的治療耐性細胞によるアプローチ-	高 裕子	保存科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
ミュータンスレンサ球菌表面タンパクの病原性解析に基づく齲蝕予防法の開発	勝俣 環	保存科	1,700,000	補○ 委	日本学術振興会
LIPUSを併用したBMP9と脱分化脂肪細胞による新規歯周・骨組織再生療法の開発	野口 和行	歯周病科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
BMP9を用いた歯周組織細胞の分化制御メカニズムの解明と新規歯周再生療法への展開	中村 利明	歯周病科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
BMP9の歯周組織におけるSDF-1/CXCR4 axisを中心とした機能の解明	古江 きらら	歯周病科	1,600,000	補○ 委	日本学術振興会
妊娠性糖尿病におけるインスリン抵抗性亢進への歯周病の関与に関する包括的研究	長谷川 梢	歯周病科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
BMP-9/MTAハイブリッド型直接覆髄剤を用いた新規象牙質再生療法の基盤確立	川上 克子	歯周病科	800,000	補○ 委	日本学術振興会
歯周組織の老化におけるGDF6の機能解析	瀬名 浩太郎	歯周病科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
糖尿病患者の骨インプラント結合向上へ向けた抗糖尿病薬とBMP9を用いた新たな試み	橋口 千琴	歯周病科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
脱分化脂肪細胞集塊(C-DFAT)を用いた新規骨再生療法の開発	篠原 敬哉	歯周病科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
歯冠補綴装置の脱落を生じにくい支台築造用コンポジットレジンの開発	南 弘之	冠・ブリッジ科	300,000	補○ 委	日本学術振興会
自己体性幹細胞の多軸的制御と可視的評価による委縮顎骨の増生治療開発	西村 正宏	義歯補綴科	4,600,000	補○ 委	日本学術振興会
摂食機能評価に基づいた栄養食事指導の有効性と体組成改善への影響の検討	西 恭宏	義歯補綴科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
食味嗜好に対応する温度調節型保湿法の開発とその有効性に関する多軸的評価	村上 格	義歯補綴科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
顎骨骨髓間質細胞を用いた顎骨再医療のための骨形成能診断法の開発	末廣 史雄	義歯補綴科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
MSCsを用いたオートファジー系を介する高度骨吸収治療法の開発研究	原田 佳枝	義歯補綴科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
人工骨-粘膜複合体による新規顎堤再建法の開発	益崎 与泰	義歯補綴科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
高齢義歯装着患者の摂食機能と栄養状態の関連ならびに栄養食事指導効果の検証	峰元 洋光	義歯補綴科	0	補○ 委	日本学術振興会
血中循環癌細胞のシングルセル解析による口腔癌次世代統合精密治療法の開発	杉浦 剛	口腔外科	4,700,000	補○ 委	日本学術振興会

小計25件

薩摩川内市鹿島町における住民の口腔疾患の保健管理に関する研究	杉浦 剛	口腔外科	1,000,000	補 委○	薩摩川内市
長島町における住民の口腔疾患に関する調査研究	杉浦 剛	口腔外科	1,000,000	補 委○	長島町
カンジダ卵黄抗体と蛍光色素を用いた新しいカンジダ検出法の開発、簡便化と迅速化	上川 善昭	口腔外科	0	補 委○	日本学術振興会
うがい液試料の統合的マルチオミクス解析に基づく口腔癌プレジジョン治療の実現	濱田 倫史	口腔外科	1,000,000	補 委○	日本学術振興会
HTLV-1関連シェーグレン症候群の病態解明に向けた免疫学的検討	田中 昭彦	口腔外科	0	補 委○	日本学術振興会
口腔癌の血管浸潤を介した遠隔転移における幹細胞遺伝子の機能解析と治療への展開	久米 健一	口腔外科	700,000	補 委○	日本学術振興会
口腔・大腸マイクロバイーム解析による大腸がんリスク診断および予防概念の創生	後藤 雄一	口腔外科	1,700,000	補 委○	日本学術振興会
癌遺伝子 Δ Np63とmicroRNAを介した癌の浸潤・転移機構の解析と治療応用	後藤 雄一	口腔外科	0	補 委○	日本学術振興会
口腔機能低下症の改善によるフレイル予防と健康寿命延伸への取り組み -高齢化率40%の鹿児島県垂水市における介入型大規模コホート研究-	中村 麻弥	口腔外科	2,100,000	補 委○	公益財団法人 杉浦記念財団
新規ニューラルネットワークを用いた口蓋裂異常構音の可視化診断・訓練システムの開発	中村 典史	口腔顎顔面外科	1,700,000	補 委○	日本学術振興会
次世代型生体吸収性ハイドロキシアパタイト表面被覆Mg合金の骨内変化に関する研究	野添 悦郎	口腔顎顔面外科	0	補 委○	日本学術振興会
顎骨骨髓炎発症要因における歯源性細胞と細胞極性調節因子相互作用の解析	石畑 清秀	口腔顎顔面外科	1,800,000	補 委○	日本学術振興会
口蓋裂術後の言語障害の視覚的フィードバックを目指す新たな音声可視化システムの構築	手塚 征宏	口腔顎顔面外科	0	補 委○	日本学術振興会
口腔がん患者のフレイルの多角的評価と縦断的な治療を実現する全人的医療の実践	鈴木 甫	口腔顎顔面外科	700,000	補 委○	日本学術振興会
片側性唇裂に対する術後3Dシミュレーション画像の開発	大河内 孝子	口腔顎顔面外科	600,000	補 委○	日本学術振興会
治療選択を目的とした唾液腺癌のsubtype分類の確立	吉村 卓也	口腔顎顔面外科	600,000	補 委○	日本学術振興会
VEGF-Cによるリンパ管新生効果は、骨再生・修復促進に関与しうるか？	柚木 寿理	口腔顎顔面外科	1,000,000	補 委○	日本学術振興会
動物移植モデルを用いたエナメル上皮腫の浸潤形態の多様性に関わる因子の解明	淵上 貴央	口腔顎顔面外科	1,600,000	補 委○	日本学術振興会
令和元年度HIV診療医師情報網支援事業	橋口 照人	検査部	198,000	補 委○	独立行政法人国立病院機構 九州医療センター
閉塞性動脈硬化症の診断治療の新パラダイム構築 -エクソソームを用いた検査学的展開	山口 宗一	検査部	4,400,000	補 委○	日本学術振興会
細胞内代謝系を繋ぐp53分子による動脈硬化の統合的新解釈構築	山口 宗一	検査部	2,700,000	補 委○	日本学術振興会
肺癌における免疫チェックポイント阻害療法効果予測因子の検索	田上 聖徳	検査部	1,200,000	補 委○	日本学術振興会
VEGF増加は高内皮細静脈を増生させ、2次・3次リンパ組織のリモデリングを促す	竹之内 和則	検査部	1,500,000	補 委○	日本学術振興会
糖尿病を母体とする肝細胞癌発症機序の解明 - VEGFを分子標的とした戦略	中島 一壽	検査部	1,000,000	補 委○	日本学術振興会
生体自家蛍光の機序解明と術中イメージングシステム開発へ向けた基礎研究	新田 吉陽	手術部	1,100,000	補 委○	日本学術振興会

小計25件

MRI分子イメージングを用いた軟骨形成性腫瘍の悪性度評価法の開発	中條 正典	放射線部		0	補委	日本学術振興会
NIRSによる心停止時の適切な胸骨圧迫を評価する生理学的モニタリング法の構築	垣花 泰之	救命救急センター(救急科)		1,100,000	補委	日本学術振興会
メラニンシグナルを標的とした新たな敗血症関連脳症治療法の確立	新山 修平	救命救急センター(救急科)		1,100,000	補委	日本学術振興会
下肢虚血再灌流障害におけるDAMPs(ヒストン、HMGB1)の動向	古別府 裕明	救命救急センター(救急科)		1,100,000	補委	日本学術振興会
高齢者における心房細動の早期発見と心原性脳塞栓症予防に関する研究	入來 泰久	救命救急センター(救急科)		700,000	補委	日本学術振興会
近赤外時間分解分光法を用いた非侵襲的リアルタイム脳酸素代謝モニタリング法の構築	江口 智洋	救命救急センター(救急科)		1,000,000	補委	日本学術振興会
NOSの補酵素テトラヒドロbiopterinの敗血症における動態と治療標的としての検討	安田 智嗣	集中治療部		1,100,000	補委	日本学術振興会
血小板輸血の臨床判断を補助するための多角的止血機能評価法の構築	中 弁護	集中治療部		1,200,000	補委	日本学術振興会
ECMO回路閉塞における炎症と凝固の包括的制御戦略	二木 貴弘	集中治療部		1,200,000	補委	日本学術振興会
水素ガス吸入療法による薬剤性肝障害に対する新規治療法の開発とそのメカニズムの解明	政所 祐太郎	集中治療部		1,200,000	補委	日本学術振興会
令和元年度HIV感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の環境整備事業(実地研修事業)	古川 良尚	輸血・細胞治療部		200,000	補委	公益財団法人エイズ予防財団
HIV感染者等保健福祉相談事業	古川 良尚	輸血・細胞治療部		750,000	補委	公益財団法人エイズ予防財団
川崎病急性期におけるHMGB-1の制御を目的とした分子標的治療の開発	上野 健太郎	周産母子センター		2,600,000	補委	日本学術振興会
壊死性腸炎根絶を目指したアドレノメデュリンによる革新的予防・治療法の開発	中目 和彦	周産母子センター		900,000	補委	日本学術振興会
IGF-1&EPAによる腸管不全の肝障害・腸管順応Dual Therapyの開発	武藤 充	周産母子センター		1,600,000	補委	日本学術振興会
短腸症候群腸内フローラと消化管ホルモン動態の相関解明に基づくIFALD予防法開発	大西 峻	周産母子センター		1,000,000	補委	日本学術振興会
周術期の摂食条件が体内時計に与える影響; 遺伝子改変マウスを用いた時間生物学的解析	大野 幸	全身管理歯科治療部		1,700,000	補委	日本学術振興会
痛みの神経回路—伝達系と抑制系の相互媒介を単一ニューロンレベルで解析する	大野 幸	全身管理歯科治療部		0	補委	日本学術振興会
炎症性マクロファージを介したエストロゲンによる神経障害性疼痛増悪機序の解明	山形 和彰	全身管理歯科治療部		1,200,000	補委	日本学術振興会
膵胆管系腫瘍の早期診断と治療効果予測システム確立	東 美智代	病理部・病理診断科		1,100,000	補委	日本学術振興会
口腔粘膜前癌病変の病理診断基準の確立	仙波 伊知郎	病理部(歯科系)		1,100,000	補委	日本学術振興会
自己免疫疾患モデルを用いた新規腫瘍発生制御免疫システムの解明	近藤 智之	病理部(歯科系)		1,000,000	補委	日本学術振興会
マイクロダイアリス法を用いた神経因性膀胱の病態に関わる脳内機構の解明	吉田 輝	リハビリテーション部		1,200,000	補委	日本学術振興会
脳損傷者のNIRSを用いたドライビングシミュレーター運転時の脳血流について	有馬 美智子	リハビリテーション部		100,000	補委	日本学術振興会
2型糖尿病における歯周病原性細菌に対するインクレチン関連薬の影響	作田 哲也	歯科総合診療部		1,100,000	補委	日本学術振興会

小計25件

地域基盤型医療に貢献する歯科医療人養成のための多職種連携教育プログラムの構築	吉田 礼子	歯科総合診療部	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
歯学部学士課程におけるプロフェッショナリズムの醸成過程と影響因子の解明	大戸 敬之	歯科総合診療部	700,000	補○ 委	日本学術振興会
難治癌の新規集学的治療開発: 遺伝子治療応答性への癌微小環境・悪液質の関わりと制御	上野 真一	腫瘍センター	0	補○ 委	日本学術振興会
新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン	上野 真一	腫瘍センター	13,368,000	補○ 委	国立大学法人九州大学
生体内ゲノム編集を利用したHTLV-1を標的にする新規抗ウイルス療法	鈴木 紳介	腫瘍センター	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
令和元年度肝炎情報センター戦略的強化事業委託	井戸 章雄	肝疾患相談センター	3,723,000	補○ 委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
肝疾患診療地域連携体制強化事業業務委託	井戸 章雄	肝疾患相談センター	13,103,151	補○ 委	鹿児島県
小児タオパチーに伴うてんかん原性病変におけるてんかん原性獲得機序の解明	花谷 亮典	てんかんセンター	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
独自開発の革新的な増殖制御型アデノウイルスの肉腫への承認申請を目指した医師主導治験	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	100,100,000	補○ 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
独自開発の全身性の腫瘍溶解性・免疫療法の非臨床開発	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	57,000,000	補○ 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
骨軟部肉腫への腫瘍溶解・免疫誘導・癌幹細胞制圧の革新的な遺伝子ウイルス治療の開発	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	4,100,000	補○ 委	日本学術振興会
生活者としての高齢者を支える標準化された看護・介護ケア情報の構造化と連携	宇都 由美子	医療情報部	700,000	補○ 委	日本学術振興会
地域包括ケアシステムにおける認知症患者の地域トータルケア量計算モデルの開発	岩穴口 孝	医療情報部	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
行動解析に基づく中心静脈カテーテル挿入手技の標準化に向けたトレーニングの開発	加治 建	総合臨床研修センター	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
機能性RNAネットワーク解析に基づく治療抵抗性小細胞肺癌の革新的治療法開発	隈元 朋洋	総合臨床研修センター	700,000	補○ 委	日本学術振興会
短腸症の腸管順応獲得を可能にする消化管ホルモンのコンビネーション治療の開発	山田 和歌	総合臨床研修センター	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
小児腸管内におけるESBL遺伝子と大腸菌病原遺伝子の水平伝播の実態解明	西 順一郎	医療安全管理部	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
地域サーベイランスシステムによる薬剤耐性菌伝播リスクの疫学的・細菌学的解析	川村 英樹	医療安全管理部	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
地域医療支援センター設置事業業務委託	大脇 哲洋	地域医療支援センター	22,220,000	補○ 委	鹿児島県
地域卒医学生離島・へき地医療実習等業務委託	大脇 哲洋	地域医療支援センター	4,554,529	補○ 委	鹿児島県
病院における薬剤師の働き方の実態を踏まえた生産性の向上と薬剤師業務のあり方に関する研究	武田 泰生	薬剤部	8,000,000	補○ 委	厚生労働省
神経接着分子Caspr4を介した神経精神疾患における新規治療戦略	武田 泰生	薬剤部	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
一細胞微小液滴培養による血中循環がん細胞高感度検出法	寺菌 英之	薬剤部	2,700,000	補○ 委	日本学術振興会
シスタチンCを用いた抹消静脈栄養における腎機能障害の評価	深水 知英	薬剤部	380,000	補○ 委	日本学術振興会
へき地診療所に派遣される看護師に対する教育研修システム構築のための基礎的研究	楠元 裕佳	看護部	500,000	補○ 委	日本学術振興会

小計25件

GlycoCESTイメージングを用いた肝臓糖代謝定量イメージング法の確立	岩永 崇	臨床技術部	700,000	補○ 委	日本学術振興会	
血小板と感染症を結びつけるmicroRNAの機能解明	郡山 豊泰	臨床技術部	1,700,000	補○ 委	日本学術振興会	
「血小板内シグナル伝達と巨核球分化」2つに機能するPBX2分子の新規機構の解明	小濱 祐行	臨床技術部	800,000	補○ 委	日本学術振興会	
心房細動アブレーション後の心房リバーシブルモデリング機序解明	波野 史典	臨床技術部	1,600,000	補○ 委	日本学術振興会	
発作性心房細動アブレーション治療の再発予測因子:全心房伝導時間の検討と再発の関連	前之園 隆一	臨床技術部	490,000	補○ 委	日本学術振興会	小計5件
						計275件

(注 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Mitsuru Ohishi , Takuo Yoshida , Akinori Oh ,et al.	心臓血管内科	Analysis of antihypertensive treatment using real-world Japanese data—the retrospective study of antihypertensives for lowering blood pressure (REAL) study	Hypertens Res . 2019 Jul;42(7):1057-1067.	Original Article
2	Mitsuru Ohishi , Takuo Yoshida , Nobuhiro Nishigaki ,et al.	心臓血管内科	Antihypertensive treatment for hypertensive patients with heart failure using real-world Japanese data: subanalysis of the Retrospective study of antihypertensives for lowering blood pressure (REAL) study	Clin Exp Hypertens. 2020 Feb; 42: 139-145	Original Article
3	Yoshiyuki Ikeda, Mitsuru Ohishi	心臓血管内科	Years of Life Lost Analysis May Promote Governmental Policy to Prevent Atherosclerotic Cardiovascular Disease	Circ J . 2019 Apr 25;83(5):965-966.	Others
4	Ippei Kosedo , Akihiro Tokushige , Takuro Takumi ,et al.	心臓血管内科	Use of proton pump inhibitors is associated with an increase in adverse cardiovascular events in patients with hemodialysis: Insight from the kids registry	Eur J Intern Med . 2020 Feb;72:79-87.	Original Article
5	Yuichi Sasaki , Yoshiyuki Ikeda , Takahiro Miyauchi ,et al.	心臓血管内科	Estrogen-SIRT1 Axis Plays a Pivotal Role in Protecting Arteries Against Menopause-Induced Senescence and Atherosclerosis	J Atheroscler Thromb . 2020 Jan 1;27(1):47-59.	Original Article
6	Sunao Miyanaaga , Kayoko Kubota , Noriko Iwatani , et al.	心臓血管内科	Predictors of exercise-induced pulmonary hypertension in patients with connective tissue disease	Heart Vessels . 2019 Sep;34(9):1509-1518.	Original Article
7	Shuji Kanmura , Akihito Tanaka , Yuga Komaki , et al.	消化器内科	A case of screening colonoscopy using linked-color imaging to detect ulcerative colitis-associated colorectal cancer .	Dig Liver Dis . 2019 Jul;51(7):1061.	Case report
8	Shuji Kanmura , Hitomi Hamamoto , Akihito Tanaka , et al.	消化器内科	Diagnostic utility of linked color imaging in the evaluation of colonic mucosal inflammation in ulcerative colitis: a pilot study	Endosc Int Open . 2019 Aug;7(8):E937-E943.	Original Article
9	Mawatari S, Harada Y, Iwai M ,et al.	消化器内科	Acute Liver Failure	Diagnosis of Liver Disease. 2019 Aug 2nd Ed, 45-50	Others
10	Akihito Tanaka , Shuji Kanmura , Yuko Morinaga , et al.	消化器内科	Oral administration of Lactobacillus plantarum 06CC2 prevents experimental colitis in mice via an anti-inflammatory response	Mol Med Rep . 2020 Mar;21(3):1181-1191.	Original Article

小計10件

11	Akihito Tanaka , Shuji Kamura , Yuga Komaki , et al.	消化器内科	A case of papilloma-like lesions of the esophagus in Cronkhite-Canada syndrome	Dig Liver Dis . 2020 Mar;52(3):352.	Case report
12	Hiroshi Kurahara , Kosei Maemura , Yuko Mataka , et al.	消化器・乳腺甲状腺外科	Lung recurrence and its therapeutic strategy in patients with pancreatic cancer	Pancreatology . 2020 Jan;20(1):89-94.	Original Article
13	Yoshiaki Kita , Shinichiro Mori , Kan Tanabe ,et al.	消化器・乳腺甲状腺外科	Clinical prospects for laparoscopic stoma closure of a temporary loop ileostomy: Initial experience and report	Asian J Endosc Surg . 2020 Feb 17.	Case report
14	Yota Kawasaki , Kosei Maemura , Hiroshi Kurahara ,et al.	消化器・乳腺甲状腺外科	How to isolate and cannulate the main pancreatic duct during the Whipple procedure	ANZ J Surg . 2019 Dec;89(12):1652- 1653.	Original Article
15	Yota Kawasaki , Seok J Yang , Gi H Choi ,et al.	消化器・乳腺甲状腺外科	New scoring system for resectable hepatocellular carcinoma with a maximum tumor size of ≤5 cm based on preoperative tumor factors	HPB (Oxford) . 2019 Oct;21(10):1393- 1399.	Original Article
16	Takako Tanaka , Takaaki Arigami , Yoshikazu Uenosono ,et al.	消化器・乳腺甲状腺外科	A long-term survivor of recurrent esophagogastric junction adenocarcinoma treated with multidisciplinary therapy: a case report	Surg Case Rep . 2020 Jan 9;6(1):13.	Case report
17	Hiroko Toda , Naohiko Seki , Sasagu Kurozumi , et al.	消化器・乳腺甲状腺外科	RNA-sequence-based microRNA expression signature in breast cancer: tumor-suppressive miR- 101-5p regulates molecular pathogenesis	Mol Oncol . 2020 Feb;14(2):426-446.	Original Article
18	Yuki Nomoto , Heiji Yoshinaka , Yasuyo Ohi , et al.	消化器・乳腺甲状腺外科	Apocrine papillary lesion: comparison of pathological findings from 22 years previously and the present	Breast Cancer . 2019 Jul;26(4):524-528.	Case report
19	Haruhi Fukuhisa , Naohiko Seki , Tetsuya Idichi ,et al.	消化器・乳腺甲状腺外科	Gene regulation by antitumor miR- 130b-5p in pancreatic ductal adenocarcinoma: the clinical significance of oncogenic EPS8	J Hum Genet . 2019 Jun;64(6):521-534.	Original Article
20	Ryu Matsumoto , Shinichiro Mori , Yoshiaki Kita ,et al.	消化器・乳腺甲状腺外科	Multiple liver metastases with synchronous gastric and transverse colon cancer diagnosed by gastric perforation successfully treated by SOX plus bevacizumab and completely resected by surgery: a case report	Surg Case Rep . 2020 Mar 16;6(1):51.	Case report

小計10件

21	Ryu Matsumoto , Ken Sasaki , Itaru Omoto ,et al.	消化器・乳腺甲状腺外科	Successful conservative treatment of spontaneous intrathoracic esophageal perforation using a temporary covered esophageal stent with a check valve: a case report	Surg Case Rep . 2019 Oct 24;5(1):152.	Case report
22	Satoshi Nozuma , Steven Jacobson	脳神経内科	Neuroimmunology of Human T- Lymphotropic Virus Type 1- Associated Myelopathy/Tropical Spastic Paraparesis	Front Microbiol . 2019 Apr 24;10:885.	Review
23	Hitoshi Yamahata , Satoshi Yamaguchi , Toshiya Osanai , et al.	脳神経外科	Cauda Equina Occupation Ratio as a New Imaging Parameter for the Evaluation of Spinal Dural Arteriovenous Fistulae	World Neurosurg . 2019 Oct;130:e1020- e1027.	Original Article
24	Tomoko Hanada , Ryosuke Hanaya , Fauziah Chaira Ummah , et al.	脳神経外科	Combined Transcranial-supraorbital and Transconjunctival Approach for Optic Nerve Coloboma with Ophthalmic Dysplasia Associated with Rheumatoid Arthritis	NMC Case Rep J . 2019 Dec 18;7(1):1-4.	Case report
25	Shingo Fujio , Tareq A Juratli , Kazunori Arita , et al.	脳神経外科	A Clinical Rule for Preoperative Prediction of BRAF Mutation Status in Craniopharyngiomas	Neurosurgery . 2019 Aug 1;85(2):204-210.	Original Article
26	Shingo Fujio , Tareq A Juratli , Daniel P Cahill ,et al.	脳神経外科	In Reply: A Clinical Rule for Preoperative Prediction of BRAF Mutation Status in Craniopharyngiomas	Neurosurgery . 2019 Nov 1;85(5):E966.	Original Article
27	Shingo Fujio , Tomoko Takajo , Yasuyuki Kinoshita , et al.	脳神経外科	Sellar Xanthogranuloma: A Quest Based on Nine Cases Assessed with an Anterior Pituitary Provocation Test	World Neurosurg . 2019 Oct;130:e150-e159.	Original Article
28	Nayuta Higa , Yoshinari Shinsato , Muhammad Kamil ,et al.	脳神経外科	Formin-like 1 (FMNL1) Is Associated with Glioblastoma Multiforme Mesenchymal Subtype and Independently Predicts Poor Prognosis	Int J Mol Sci . 2019 Dec 17;20(24):6355.	Original Article
29	Hiromasa Inoue , Masanari Kozawa , Ki Lee Milligan ,et al.	呼吸器内科	A retrospective cohort study evaluating healthcare resource utilization in patients with asthma in Japan	NPJ Prim Care Respir Med . 2019 Apr 29;29(1):13.	Original Article
30	Kentaro Machida, Tomotaka Kawayama , Masaharu Kinoshita ,et al.	呼吸器内科	Imidafenacin, An Orally Active Muscarinic Receptor Antagonist, Improves Pulmonary Function In Patients With Chronic Obstructive Pulmonary Disease: A Multicenter, Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled 3×3 Crossover Phase II Trial	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis . 2019 Sep 19;14:2175-2184.	Original Article

小計10件

31	Shunsuke Misono , Naohiko Seki , Keiko Mizuno , et al.	呼吸器内科	Molecular Pathogenesis of Gene Regulation by the miR-150 Duplex: miR-150-3p Regulates TNS4 in Lung Adenocarcinoma	Cancers (Basel) . 2019 Apr 30;11(5):601.	Original Article
32	Hiroki Sanada , Naohiko Seki , Keiko Mizuno , et al.	呼吸器内科	Involvement of Dual Strands of miR-143 (miR-143-5p and miR-143-3p) and Their Target Oncogenes in the Molecular Pathogenesis of Lung Adenocarcinoma	Int J Mol Sci . 2019 Sep 11;20(18):4482.	Original Article
33	Hideki Enokida , Yasutoshi Yamada , Shuichi Tatarano , et al.	泌尿器科	Oncological outcome of neoadjuvant low-dose estramustine plus LHRH agonist/antagonist followed by extended radical prostatectomy for Japanese patients with high-risk localized prostate cancer: a prospective single-arm study	Jpn J Clin Oncol . 2020 Jan 24;50(1):66-72.	Original Article
34	Yasutoshi Yamada , Hideki Enokida , Akihiko Mitsuke , et al.	泌尿器科	Kidney transplantation with concomitant simple nephrectomy by thoracoabdominal approach for patients with huge autosomal dominant polycystic kidney disease (ADPKD): A case report	Urol Case Rep . 2019 Jul 19;26:100973.	Case report
35	Shuichi Tatarano , Hideki Enokida , Yasutoshi Yamada , et al.	泌尿器科	Anatomical Variations of the Left Renal Vein During Laparoscopic Donor Nephrectomy	Transplant Proc . 2019 Jun;51(5):1311-1313.	Original Article
36	Hirofumi Yoshino , Guowei Yin , Risa Kawaguchi , et al.	泌尿器科	Identification of lysine methylation in the core GTPase domain by GoMADScan	PLoS One . 2019 Aug 7;14(8):e0219436.	Original Article
37	Yoichi Osako , Hirofumi Yoshino , Takashi Sakaguchi , et al.	泌尿器科	Potential tumor-suppressive role of microRNA-99a-3p in sunitinib-resistant renal cell carcinoma cells through the regulation of RRM2	Int J Oncol . 2019 May;54(5):1759-1770.	Original Article
38	Kenji Ishitsuka , Satoshi Yurimoto , Yukie Tsuji , et al.	血液・膠原病内科	Safety and effectiveness of mogamulizumab in relapsed or refractory adult T-cell leukemia-lymphoma	Eur J Haematol . 2019 May;102(5):407-415.	Original Article
39	Makoto Yoshimitsu , Miho Hachiman , Yuichiro Uchida , et al.	血液・膠原病内科	Essential thrombocytosis attributed to JAK2-T875N germline mutation	Int J Hematol . 2019 Nov;110(5):584-590.	Original Article
40	Makoto Yoshimitsu , Atae Utsunomiya , Shigeo Fuji , et al.	血液・膠原病内科	A retrospective analysis of haplo-identical HLA-mismatch hematopoietic transplantation without posttransplantation cyclophosphamide for GVHD prophylaxis in patients with adult T-cell leukemia-lymphoma	Bone Marrow Transplant . 2019 Aug;54(8):1266-1274.	Original Article

小計10件

41	Daisuke Nakamura , Makoto Yoshimitsu , Tomohisa Tabuchi , et al.	血液・膠原病内科	Treatment of aggressive adult T-cell leukemia/lymphoma: a retrospective study in a hospital located in HTLV-1 highly endemic area	Int J Hematol . 2020 Feb;111(2):234-240.	Original Article
42	Yuka Urata , Masayuki Nakamura , Nari Shiokawa , et al.	神経科精神科	Sleep Disorders in Four Patients With Myotonic Dystrophy Type 1	Front Neurol . 2020 Feb 14;11:12.	Case report
43	Takuro Nishikawa , Hiroki Yamaguchi , Kazuro Ikawa , et al.	小児科	Influence of GST polymorphisms on busulfan pharmacokinetics in Japanese children	Pediatr Int . 2019 Jun;61(6):558-565.	Original Article
44	Takuro Nishikawa , Ken Okamura , Mizuki Moriyama , et al.	小児科	Novel AP3B1 compound heterozygous mutations in a Japanese patient with Hermansky-Pudlak syndrome type 2	J Dermatol . 2020 Feb;47(2):185-189.	Case report
45	Shun Onishi , Takamasa Ikee , Masakazu Murakami , et al.	小児外科	A Comparison of the Effectiveness Between Three Different Endoscopic Surgical Skill Training Programs for Medical Students Using the Infant Laparoscopic Fundoplication Simulator: A Randomized Controlled Trial	J Laparoendosc Adv Surg Tech A . 2019 Oct;29(10):1252-1258.	Original Article
46	Toshio Harumatsu , Goki Uchida , Takumi Fujimura , et al.	小児外科	The effectiveness of transoral marsupialization for lingual thyroglossal duct cysts - Twelve successfully treated cases at a single institution	J Pediatr Surg . 2019 Apr;54(4):766-770.	Original Article
47	Toshio Harumatsu , Masakazu Murakami , Keisuke Yano , et al.	小児外科	The change over time in the postoperative bowel function in male anorectal malformation patients who underwent sacroperineal anorectoplasty and sacroabdominoperineal anorectoplasty	Pediatr Surg Int . 2019 Oct;35(10):1109-1114.	Original Article
48	Toshio Harumatsu , Toshihiro Muraji , Ryuta Masuya , et al.	小児外科	Microvascular proliferation of the portal vein branches in the liver of biliary atresia patients at Kasai operation is associated with a better long-term clinical outcome	Pediatr Surg Int . 2019 Dec;35(12):1437-1441.	Original Article
49	Koji Yamada , Masakazu Murakami , Keisuke Yano , et al.	小児外科	Impact and Characteristics of Forceps Manipulation of Three-Dimensional in Laparoscopic Hepaticojejunostomy Mimicking a Disease-Specific Simulator: A Comparison of Expert with Trainee	J Laparoendosc Adv Surg Tech A . 2019 Oct;29(10):1378-1382.	Original Article
50	Koji Yamada , Masakazu Murakami , Keisuke Yano , et al.	小児外科	Impact and characteristics of two- and three-dimensional forceps manipulation using laparoscopic hepaticojejunostomy mimicking a disease-specific simulator: a comparison of pediatric surgeons with gastrointestinal surgeons	Pediatr Surg Int . 2019 Oct;35(10):1051-1057.	Original Article

小計10件

51	Keisuke Yano , Tatsuru Kaji , Shun Onishi , et al.	小児外科	Novel effect of glucagon-like peptide-2 for hepatocellular injury in a parenterally fed rat model of short bowel syndrome	Pediatr Surg Int . 2019 Dec;35(12):1345- 1351.	Original Article
52	Keisuke Yano , Toshihiro Muraaji , Kaoru Hijikuro , et al.	小児外科	Cecal diverticulitis: Two pediatric cases	Pediatr Int . 2019 Sep;61(9):931-933.	Case report
53	Shinichi Togami , Toshihiko Kawamura , Mika Fukuda , et al.	産科婦人科	Quantitative RT-PCR Assay for Detecting Lymph Node Metastasis in Endometrial Cancer: A Preliminary Study	Oncology . 2019Apr;96(4):179-182.	Original Article
54	Shinichi Togami , Toshihiko Kawamura , Mika Fukuda , et al.	産科婦人科	Learning curve and surgical outcomes for laparoscopic surgery, including pelvic lymphadenectomy, for early stage endometrial cancer	Jpn J Clin Oncol . 2019 Jun 1;49(6):521-524.	Original Article
55	Shintaro Yanazume , Haruhiko Dozono , Shunichiro Ota , et al.	産科婦人科	Examined Generalization of the Mohs' Paste for Genital Symptoms in Gynecological Cancer	J Palliat Med . 2020 Jan;23(1):10-11.	Letter
56	Yanazume S, Fukuda M, Togami S , et al.	産科婦人科	Rare signet-ring cell and squamous cell carcinoma collision tumor in the cervix	Kagoshima Journal of Obsterics and Gynecology.2020 Mar ;28: 39-44,	Case report
57	Masataka Hirotsu , Hironori Kakoi , Noboru Taniguchi	整形外科	Avulsion fracture of the medial head of the gastrocnemius muscle associated with multiple ligament injuries before closure of the growth plate: a case report	J Med Case Rep . 2019 Dec 25;13(1):382.	Case report
58	Hiroyuki Tominaga , Kanehiro Matsuyama , Yukihiro Morimoto , et al.	整形外科	The effect of ultraviolet photofunctionalization of titanium instrumentation in lumbar fusion: a non-randomized controlled trial	BMC Musculoskelet Disord . 2019 Jun 18;20(1):292.	Original Article
59	Hiroyuki Tominaga , Anna MacDowall , Claes Olerud	整形外科	Surgical treatment of the severely damaged atlantoaxial joint with C1- C2 facet spacers: Three case reports	Medicine (Baltimore) . 2019 May;98(22):e15827.	Case report
60	Yuhei Yahiro , Shingo Maeda , Naohiro Shinohara , et al.	整形外科	PEG10 counteracts signaling pathways of TGF- β and BMP to regulate growth, motility and invasion of SW1353 chondrosarcoma cells	J Bone Miner Metab . 2019 May;37(3):441-454.	Original Article

小計10件

61	Hiroto Tokumoto , Takao Setoguchi , Yoshinobu Saitoh , et al.	整形外科	Neurotensin receptor 1 is a new therapeutic target for human undifferentiated pleomorphic sarcoma growth	Mol Carcinog . 2019 Dec;58(12):2230-2240.	Original Article
62	Takuro Kanekura	皮膚科	Pincer nail deformity in a patient with Kawasaki disease	J Dermatol . 2019 Oct;46(10):e350-e351.	Case report
63	Takuro Kanekura , Akiko Arimura , Mari Kirishima , et al.	皮膚科	Eruptive squamous cell carcinoma in a patient treated with concomitant pembrolizumab and imiquimod	J Dermatol . 2019 Dec;46(12):1202-1204.	Case report
64	Yuko Higashi , Naoko Baba , Haruhito Yoshimine , et al.	皮膚科	Late-onset interstitial nephritis in a patient with drug-induced hypersensitivity syndrome/drug reaction with eosinophilia and systemic symptoms	J Dermatol . 2020 Feb;47(2):174-177.	Case report
65	Youhei Uchida , Aoi Okubo , Maiko Hayashida , et al.	皮膚科	Type D lymphomatoid papulosis associated with chemotherapy/chemoradiotherapy-induced severe chronic lymphocytopenia	J Dermatol . 2019 Nov;46(11):e412-e414.	Case report
66	Kazuyasu Fujii , Takuro Kanekura.	皮膚科	Next-Generation Sequencing Technologies for Early-Stage Cutaneous T-Cell Lymphoma	Front Med (Lausanne) . 2019 Aug 13;6:181.	Review
67	Kazuyasu Fujii , Youhei Uchida , Miho Hatanaka , et al.	皮膚科	Numbers of forkhead box P3-positive cells and programmed cell death 1-positive cells were associated with spontaneous regression in a patient with primary cutaneous diffuse large B-cell lymphoma with multiple lesions	J Dermatol . 2019 Nov;46(11):e410-e412.	Case report
68	Kazuyasu Fujii , Toshihisa Hamada , Takatoshi Shimauchi , et al.	皮膚科	Cutaneous lymphoma in Japan, 2012-2017: A nationwide study	J Dermatol Sci . 2020 Mar;97(3):187-193.	Original Article
69	Atsuko Ibusuki , Takuro Nishikawa , Tsubasa Hiraki , et al.	皮膚科	Prominent dermal Langerhans cells in an Omenn syndrome patient with a novel mutation in the IL2RG gene	J Dermatol . 2019 Nov;46(11):1019-1023.	Case report
70	Aoi Okubo , Kazuyasu Fujii , Ko-Ichi Tada , et al.	皮膚科	Acne vulgaris with false-positive signals on 18 F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography-computed tomography in a patient with a yolk sac tumor	J Dermatol . 2020 Jan;47(1):e33-e34.	Letter

小計10件

71	Hiromi Katsue , Yuko Higashi , Miho Hatanaka , et al.	皮膚科	Patient with oral lichen planus successfully treated with irsogladine maleate	J Dermatol . 2020 Feb;47(2):e56-e57.	Letter
72	Taiji Sakamoto , Sumihiro Kawano , Ryo Kawasaki , et al.	眼科	Japan-Retinal Detachment Registry Report I: preoperative findings in eyes with primary retinal detachment	Jpn J Ophthalmol . 2020 Jan;64(1):1-12.	Original Article
73	Hiroto Terasaki , Takehiro Yamashita , Minoru Tanaka , et al.	眼科	Relationship Between Funduscopy Conus and Optic Disc Factors Associated with Myopia in Young Healthy Eyes	Invest Ophthalmol Vis Sci . 2020 Feb 7;61(2):40.	Original Article
74	Takehiro Yamashita , Ryo Asaoka , Hiroto Terasaki , et al.	眼科	Factors in Color Fundus Photographs That Can Be Used by Humans to Determine Sex of Individuals	Transl Vis Sci Technol . 2020 Jan 30;9(2):4.	Original Article
75	Hideki Shiihara , Taiji Sakamoto , Hiroto Terasaki , et al.	眼科	Running pattern of choroidal vessel in en face OCT images determined by machine learning-based quantitative method	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol . 2019 Sep;257(9):1879- 1887.	Original Article
76	Junichiro Ohori , Tomohiro Jimura , Yuichi Kurono	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Role of Phosphorylcholine-Specific Immunoglobulin M in Acute Upper Respiratory Tract Infections	Ann Otol Rhinol Laryngol . 2019 Jun;128(6_suppl):111S-116S.	Original Article
77	Junichiro Ohori , Hiroyuki Iuchi , Yoshiko Maseda , et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Phosphorylcholine intranasal immunization with a 13-valent pneumococcal conjugate vaccine can boost immune response against Streptococcus pneumoniae	Vaccine . 2020 Jan 16;38(3):699-704.	Original Article
78	Hiroyuki Iuchi , Junichiro Ohori , Takayuki Kyutoku , et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Role of phosphorylcholine in Streptococcus pneumoniae and nontypeable Haemophilus influenzae adherence to epithelial cells	Auris Nasus Larynx . 2019 Aug;46(4):513-519.	Original Article
79	Yoshihiko Fukukura , Yuichi Kumagae , Mitsuho Hirahara , et al.	放射線科	CT and MRI features of undifferentiated carcinomas with osteoclast-like giant cells of the pancreas: a case series	Abdom Radiol (NY) . 2019 Apr;44(4):1246-1255.	Original Article
80	Yoshihiko Fukukura , Yuichi Kumagae , Ryutaro Higashi , et al.	放射線科	Estimation of Extracellular Volume Fraction With Routine Multiphase Pancreatic Computed Tomography to Predict the Survival of Patients With Stage IV Pancreatic Ductal Adenocarcinoma	Pancreas . Nov/Dec 2019;48(10):1360-1366.	Original Article

小計10件

81	Yoshihiko Fukukura , Yuichi Kumagae , Ryutaro Higashi , et al.	放射線科	Extracellular volume fraction determined by equilibrium contrast-enhanced dual-energy CT as a prognostic factor in patients with stage IV pancreatic ductal adenocarcinoma	Eur Radiol . 2020 Mar;30(3):1679-1689.	Original Article
82	Kiyohisa Kamimura , Masanori Nakajo , Tomohide Yoneyama ,et al.	放射線科	Histogram analysis of amide proton transfer-weighted imaging: comparison of glioblastoma and solitary brain metastasis in enhancing tumors and peritumoral regions	Eur Radiol . 2019 Aug;29(8):4133-4140.	Original Article
83	Koji Takumi , Yoshihiko Fukukura , Hiroto Hakamada ,et al.	放射線科	CT features of parathyroid carcinomas: comparison with benign parathyroid lesions	Jpn J Radiol . 2019 May;37(5):380-389.	Original Article
84	Masatoyo Nakajo , Megumi Jinguji , Tetsuya Shinaji , et al.	放射線科	A Pilot Study of Texture Analysis of Primary Tumor [18 F]FDG Uptake to Predict Recurrence in Surgically Treated Patients with Non-small Cell Lung Cancer	Mol Imaging Biol . 2019 Aug;21(4):771-780.	Original Article
85	M Nakajo , K Kitajima , H Kaida , et al.	放射線科	The clinical value of PERCIST to predict tumour response and prognosis of patients with oesophageal cancer treated by neoadjuvant chemoradiotherapy	Clin Radiol . 2020 Jan;75(1):79.e9-79.e18.	Original Article
86	Masatoyo Nakajo , Megumi Jinguji , Masaya Aoki , et al.	放射線科	The clinical value of texture analysis of dual-time-point 18 F-FDG-PET/CT imaging to differentiate between 18 F-FDG-avid benign and malignant pulmonary lesions	Eur Radiol . 2020 Mar;30(3):1759-1769.	Original Article
87	Kaoru Yamashita , Toshiro Kibe , Sachi Ohno , et al.	歯科麻酔科	Time to Recovery of Feeding After Alveolar Bone Graft Is Associated With Postoperative Nausea and Vomiting Within 2 Hours in Children	Clin Med Insights Pediatr . 2019 Jun 14;13:1179556519855387.	Original Article
88	Kaoru Yamashita , Toshiro Kibe , Sachi Ohno , et al.	歯科麻酔科	The Effects of Music Listening During Extraction of the Impacted Mandibular Third Molar on the Autonomic Nervous System and Psychological State	J Oral Maxillofac Surg . 2019 Jun;77(6):1153.e1-1153.e8.	Original Article
89	Kaoru Yamashita , Toshiro Kibe , Rumi Shidou , et al.	歯科麻酔科	Difference in the Effects of Lidocaine With Epinephrine and Prilocaine With Felypressin on the Autonomic Nervous System During Extraction of the Impacted Mandibular Third Molar: A Randomized Controlled Trial	J Oral Maxillofac Surg . 2020 Feb;78(2):215.e1-215.e8.	Original Article
90	Seiji Etoh , Kentaro Kawamura , Kei Tomonaga , et al.	リハビリテーション科	Effects of concomitant neuromuscular electrical stimulation during repetitive transcranial magnetic stimulation before repetitive facilitation exercise on the hemiparetic hand	NeuroRehabilitation . 2019 Jan;45(3):323-329.	Original Article

小計10件

91	Takahiko Oho , Emi Nagata	口腔保健科	DMBT1 involvement in the human aortic endothelial cell response to Streptococcus mutans	Mol Oral Microbiol . 2019 Jun;34(3):108-117.	Original Article
92	E Nagata , T Nishiyama , M Yamashita , et al.	口腔保健科	A primary canine and an impacted permanent canine with infection potentially induced an intracranial abscess	Aust Dent J . 2020 Mar;65(1):96-99.	Case report
93	Shoko Nakagawa , Aya Maeda-Iino , Shouichi Miyawaki	矯正歯科	Relationships of maxillofacial morphology and malocclusion with handgrip strength in adult women	Orthod Craniofac Res . 2019 Aug;22(3):159-167.	Original Article
94	Tomonori Iwasaki , Audrey Yoon , Christian Guilleminault , et al.	小児歯科	How does distraction osteogenesis maxillary expansion (DOME) reduce severity of obstructive sleep apnea?	Sleep Breath . 2020 Mar;24(1):287-296.	Original Article
95	Tomonori Iwasaki , Ayaka Yanagisawa- Minami , Hokuto Suga , et al.	小児歯科	Rapid maxillary expansion effects of nasal airway in children with cleft lip and palate using computational fluid dynamics	Orthod Craniofac Res . 2019 Aug;22(3):201-207.	Original Article
96	Tomonori Iwasaki , Hokuto Suga , Ayaka Minami- Yanagisawa , et al.	小児歯科	Upper airway in children with unilateral cleft lip and palate evaluated with computational fluid dynamics	Am J Orthod Dentofacial Orthop . 2019 Aug;156(2):257-265.	Original Article
97	Emi Inada , Issei Saitoh , Naoko Kubota ,et al.	小児歯科	piggy Bac Transposon-Based Immortalization of Human Deciduous Tooth Dental Pulp Cells with Multipotency and Non-Tumorigenic Potential	Int J Mol Sci . 2019 Oct 3;20(19):4904.	Original Article
98	Emi Inada , Issei Saitoh , Naoko Kubota ,et al.	小児歯科	Increased Expression of Cell Surface SSEA-1 is Closely Associated with Naïve-Like Conversion from Human Deciduous Teeth Dental Pulp Cells-Derived iPS Cells	Int J Mol Sci . 2019 Apr 3;20(7):1651.	Original Article
99	Emi Inada , Issei Saitoh , Yasutaka Kaihara , et al.	小児歯科	Incompetent lip seal affects the form of facial soft tissue in preschool children	Cranio . 2019 Aug 30;1-7.	Original Article
100	Yoshinori Shirakata , Takatomo Imafuji , Kotaro Sena , et al.	歯周病科	Periodontal tissue regeneration after low-intensity pulsed ultrasound stimulation with or without intra-marrow perforation in two-wall intra-bony defects-A pilot study in dogs	J Clin Periodontol . 2020 Jan;47(1):54-63.	Original Article

小計10件

101	Y Shirakata , T Nakamura , Y Shinohara , et al.	歯周病科	Split-mouth evaluation of connective tissue graft with or without enamel matrix derivative for the treatment of isolated gingival recession defects in dogs	Clin Oral Investig . 2019 Aug;23(8):3339-3349.	Original Article
102	Mamoru Murakami , Yasuhiro Nishi , Kea Harada , et al.	義歯補綴科	Impact of Oral Intake of Glucosylceramide Extracted from Pineapple on Xerostomia: A Double-Blind Randomized Cross-Over Trial	Nutrients . 2019 Aug 28;11(9):2020.	Original Article
103	Mamoru Murakami , Yasuhiro Nishi , Takaharu Shimizu ,et al.	義歯補綴科	A retainer-free obturator prosthesis in a fully dentulous patient with palatal defects	J Oral Sci . 2020 Jan;62(1):122-124.	Case report
104	Hajime Suzuki , Koji Ataka , Akihiro Asakawa , et al.	口腔顎顔面外科	Helicobacter pylori Vacuolating Cytotoxin A Causes Anorexia and Anxiety via Hypothalamic Urocortin 1 in Mice	Sci Rep . 2019 Apr 12;9(1):6011.	Original Article
105	Takashi Ito , Takaaki Totoki , Yayoi Yokoyama , et al.	救命救急センター	Serum histone H3 levels and platelet counts are potential markers for coagulopathy with high risk of death in septic patients: a single-center observational study	J Intensive Care . 2019 Dec 26;7:63.	Original Article
106	Takashi Ito , Jecko Thachil , Hidesaku Asakura , et al.	救命救急センター	Thrombomodulin in disseminated intravascular coagulation and other critical conditions—a multi-faceted anticoagulant protein with therapeutic potential	Crit Care . 2019 Aug 15;23(1):280.	Review
107	Yoshitaka Furukawa , Heiichiro Hamada , Kazuto Kamikawaji , et al.	輸血・細胞治療部	Successful treatment of an AIDS patient with prolonged Mycobacterium avium bacteremia, high HIV RNA, HBV infection, Kaposi's sarcoma and cytomegalovirus retinitis	J Infect Chemother . 2020 Feb;26(2):279-281.	Case report
108	Kentaro Ueno , Naohiro Shiokawa , Yoshihiro Takahashi ,et al.	周産母子センター	Kidney Disease: Improving Global Outcomes in neonates with acute kidney injury after cardiac surgery	Clin Exp Nephrol . 2020 Feb;24(2):167-173.	Original Article
109	Hiroshi Hayami , Satoshi Takahashi , Kiyohito Ishikawa , et al.	血液浄化療法部	Second nationwide surveillance of bacterial pathogens in patients with acute uncomplicated cystitis conducted by Japanese Surveillance Committee from 2015 to 2016: antimicrobial susceptibility of Escherichia coli, Klebsiella pneumoniae, and Staphylococcus saprophyticus	J Infect Chemother . 2019 Jun;25(6):413-422.	Others
110	Tsubasa Hiraki , Miho Hatanaka , Akiko Arimura ,et al.	病理診断科	Granulomatous/sarcoid-like reactions in the setting of programmed cell death-1 inhibition: a potential mimic of disease recurrence	J Cutan Pathol . 2020 Feb;47(2):154-160.	Case report

小計10件

111	Hideki Sugawara , Mayako Uchida , Shinya Suzuki ,et al.	薬剤部	Analyses of Respiratory Depression Associated with Opioids in Cancer Patients Based on the Japanese Adverse Drug Event Report Database	Biol Pharm Bull . 2019Apri;42(7):1185-1191.	Original Article
112	Yukihiko Nishizawa , Ryuji Ikeda , Masatatsu Yamamoto ,et al.	薬剤部	5-Aza-2-deoxycytidine Enhances the Sensitivity of 5-Fluorouracil by Demethylation of the Thymidine Phosphorylase Promoter	Anticancer Res . 2019 Aug;39(8):4129-4136.	Original Article
					計112件

小計2件

計112件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	大石 充	心臓血管内科	高齢者救急の課題:予防の重要性と 取り組み	日本内科学会雑誌. 2019 Dec; 108: 2481-2487	Review
2	池田義之、大石 充	心臓血管内科	心疾患・血管疾患とサルコペニア・フ レイル	日本医師会雑誌. 2019 Nov; 148: 1493-1495	Review
3	緒方裕樹、上田英 昭、松葉智之、他	心臓血管外科	左側相同を伴い37年後に再手術を 要した遺残心房中隔欠損の1例	日本心臓血管外科学会雑 誌. 48(5): 313-315, 2019	Case report
4	永富脩二、山本裕 之、豊川建二、他	心臓血管外科	非解剖学的血行再建により再拡張 が得られた急性B型大動脈解離によ るstent graft collapseの1例	日本心臓血管外科学会雑 誌. 48(3): 206-209, 2019	Case report
5	熊谷公太郎、井戸 章雄、	消化器内科	ACLFの治療、	週刊 医学のあゆみ 2020.2	Review
6	馬渡誠一、井戸章 雄、	消化器内科	指定難病ペディア2019 肝型糖尿病 [指定難病257]	日本医師会雑誌	Others
7	笠井亜衣、橋元慎 一、恒吉研吾、他	消化器内科	膵臓の腫瘍性病変に対するEUS- FNAで診断に至ったB細胞リンパ腫 の3例、	膵臓. 2019 IN PRESS	Case report
8	又木雄弘、盛真一 郎、夏越祥次	消化器・乳腺甲状腺外科	鹿児島大学消化器・乳腺甲状腺外 科の若手外科医教育	外科 2019; 81: 961-964	Others
9	佐々木健、大堀純 一郎、佐々木文 郷、他	消化器・乳腺甲状腺外科	咽頭、食道のHPV感染と癌	胃と腸 2019; 54: 1663-1665	Review
10	佐々木健、内門泰 斗、尾本至、他	消化器・乳腺甲状腺外科	ハイリスク食道癌症例に対する気縦 隔鏡・用手補助腹腔鏡下非開胸食 道切除術	手術 2019; 73: 77-82	Original Article
11	川崎洋太、前村公 成、又木雄弘、他	消化器・乳腺甲状腺外科	膵頭十二指腸切除における膵消化 管吻合 1)膵胃吻合の立場から	手術 2019; 73: 320	Others
12	鶴田祐介、増田隆 明、林直樹、他	消化器・乳腺甲状腺外科	Bevacizumab+Paclitaxel療法中に腋 窩動脈出血を来した再発乳癌の1例	癌と化学療法. 2020; 47(1)	Case report
13	永田彩子、新田吉 陽、江口裕可、他	消化器・乳腺甲状腺外科	性同一性障害に対するアンドロゲン 投与中に発生した閉経後乳癌の1例	日臨外会誌 2019; 80: 1819- 1823	Case report
14	和田真澄、飯野 聡、田上聖徳、他	消化器・乳腺甲状腺外科	肝内胆管癌と鑑別が困難であった術 後13年目の乳癌単発性肝転移切除 の1例	癌と化学療法. 2020; 47(1)	Case report
15	和田真澄、盛真一 郎、喜多芳昭、他	消化器・乳腺甲状腺外科	経仙骨的低侵襲手術下に摘出した 肛門近傍epidermoidcystの1例	手術 2019; 73: 1271-1274	Case report

小計15件

16	橋口昭大	脳神経内科	遺伝性ニューロパチー	日本内科学会雑誌.2019 Aug; 108: 1545-1551	Others
17	中村友紀	脳神経内科	針筋電図検査所見の考え方	J Clinical Rehabilitation. 2019 Jul; 28: 891-895	Others
18	武田亜矢、上田和弘、梅原正、他	呼吸器外科	蛍光ガイド手術の現状と展望 7. 呼吸器外科領域における研究と展望	日本外科学会雑誌. 2020/01/01; 121(1): 48-53	Review
19	武田亜矢、上田和宏、永田俊行、他	呼吸器外科	鼠径リンパ節穿刺によるICG蛍光法が肺癌術後の乳糜漏出部の同定に有用であった1例	日本呼吸器外科学会. 2020/03/01; 34(2): 20-24	Case report
20	山田保俊、中川昌之、佐伯英二.	泌尿器科	【腎移植の現状と残された課題】島嶼における腎代替療法	腎と透析 87(1): 124-127, 2019.	Others
21	山田保俊	泌尿器科	【移植を考える】腎移植の実際	腎不全を生きる 59: 20-24, 2019.	Others
22	江浦瑠美子、中川昌之.	泌尿器科	小児先天性水腎症の治療方針について	西日本泌尿器科 81(6): 582-593, 2019.	Review
23	鐘野秀一、中川昌之.	泌尿器科	第101回 泌尿器科領域におけるトランプルシューティング 腎移植術中の尿管ステント留置に伴う腎損傷	泌尿器外科 32(4): 369-370, 2019.	Case report
24	吉満誠	血液・膠原病内科	【臨床医学—ゲノム医療の深化と今後の展望2019(リンパ系疾患)—】成熟T/NK細胞性リンパ腫(解説/特集)	臨床血液(0485-1439)60巻 5号 Page 441-446 (2019.05).	Review
25	神尾真樹、小林裕明	産科、婦人科	保険適応となった婦人科ロボット手術と我々の取り組み	鹿児島産科婦人科学会雑誌, 2020 Mar;28: 5-10	Review
26	福田美香、牛若昂志、松本純、他	産科、婦人科	当科におけるオラバリブ投与症例の臨床的検討	鹿児島産科婦人科学会雑誌, 2020 Mar;28: 24-29	Original Article
27	梶博則、海江田英泰、海江田光祥、他	整形外科	関節鏡下腱板修復術における腱板リリースの効果の検討	整形外科と災害外科2020 Mar 69(2); 393-395	Original Article
28	梶博則、海江田英泰、海江田光祥、他	整形外科	上腕二頭筋長頭腱を温存した関節鏡下腱板修復術の手術成績	整形外科と災害外科2020 Mar 69(2): 396-398	Original Article
29	梶博則、海江田英泰、海江田光祥、他	整形外科	腱板修復術後の肩峰—上腕骨頭間距離の変化と肩甲骨形態の関係	整形外科と災害外科2020 Mar 69(2): 405-408	Original Article
30	梶博則、海江田英泰、海江田光祥、他	整形外科	関節鏡下肩峰下除圧術を併用しない関節鏡下腱板修復術の臨床成績	肩関節 2019 Nov 43(3):749-752	Original Article

小計15件

31	廣津匡隆、梶博則、海江田英泰、他	整形外科	ハムストリングを用いたACL再建術後における膝蓋下脂肪体線維化の程度と膝蓋骨高の経時的変化の関連	整形外科と災害外科2020 Mar 69(2): 415-418	Original Article
32	廣津匡隆、梶博則、海江田英泰、他	整形外科	Critical Shoulder Angleと関節鏡下腱板修復術の術後成績との関連	整形外科と災害外科2020 Mar 69(2): 409-411	Original Article
33	海江田英泰、梶博則、海江田光祥、他	整形外科	肩関節外転角度と肩甲上腕関節水平伸展角度の関係	整形外科と災害外科2020 Mar 69(2): 402-404	Original Article
34	海江田英泰、梶博則、海江田光祥、他	整形外科	徒手筋力計を用いた前腕回外筋力測定装置の考察と前腕回外筋力の利き手側と非利き手側の比の検討	肩関節 2019 Nov 43(3):835-838	Original Article
35	中村優子、有島善也、小倉雅、他	整形外科	遠位橈尺関節症による伸筋腱皮下断裂の治療経験	整形外科と災害外科 2019 Sep 68(4): 752-753	Original Article
36	中村優子、有島善也、小倉雅、他	整形外科	尺側CM関節脱臼骨折の治療成績	日本手外科学会雑誌2019 Nov 36(2):134-137	Original Article
37	今村勝行、格谷義徳、大山洋平、他	整形外科	Posterior-Stabilized TKAにおける大腿骨後顆骨切り量のRange of Motionと術後短期成績に及ぼす影響	日本人工関節学会誌 2019 Dec 49:251-252	Original Article
38	内田洋平、金蔵拓郎	皮膚科	脱毛症の免疫学的病態	日本皮膚免疫アレルギー学会雑誌 2019 Apr; 2: 287-94	Review
39	大久保葵、東裕子、畠中美帆、他	皮膚科	胃Kaposi肉腫につづき皮膚Kaposi肉腫がみられたAIDSの1例	Skin Cancer 2019; 34: 234-7	Case report
40	山下高明	眼科	後眼部形状と緑内障性視神経症	眼科61巻13号Page1519-1525(2019.12)	Review
41	迫野能士、水島崇、椎原秀樹、他	眼科	化学療法が短期間で著効したびまん性大細胞型B細胞リンパ腫による眼瞼結膜リンパ腫の1例	臨床眼科73巻10号 Page1303-1307(2019.10)	Case report
42	中澤祐則、石川均	眼科	【中途失明の可能性のある疾患Q&A】中途失明の可能性のある疾患とその検査/治療 視神経・視路 突発性視神経炎とはなんですか。また治療はどうしますか	あたらしい眼科36巻臨時増刊号Page215-218(2019.11)	Review
43	黒野祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	耳鼻咽喉科領域における好酸球性疾患	日本気管食道科学会会報. 2019 Oct;70:320-5	Others
44	永野広海、宮本佑美、地村友宏、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	再発性多発軟骨炎9症例の臨床検討	日本耳鼻咽喉科学会会報. 2019 Oct; 122:1322-8	Original Article
45	井内寛之、永野広海、黒野祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	小児耳下腺腺房細胞癌の1例	頭頸部癌. 2019 Apr;45:66-70	Case report

小計15件

46	川島雅樹、宮下圭一、黒野祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	鼻性眼窩内合併症の臨床的特徴と視力予後	頭頸部外科. 2020 Feb; 29:267-272	Original Article
47	伊東小都子、牧瀬高穂、井内寛之、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	鼻副鼻腔に発生した孤立性線維性腫瘍例	耳鼻咽喉科臨床. 2019 Sep;112:581-5	Case report
48	千堂良造、山口孝二郎、山下薫、他	歯科麻酔科	漢方療法が奏効した口腔乾燥症および心因性舌痛症の併存した1例	日本口腔顔面痛学会雑誌 2019 Nov,11(1): 43-47	Case report
49	山下薫、岐部俊郎、梶谷淳、他	歯科麻酔科	グレン循環患児における口唇形成・口蓋形成術に対する全身麻酔経験	日本歯科麻酔学会誌雑誌 2019 Apr,47(2):65-67	Case report
50	丸谷佳菜子、権相豪、友成博、他	矯正歯科	顎間骨整位術と顎裂部への骨移植後に小臼歯の移植を行った両側性不完全唇顎口蓋裂を伴う不正咬合症例.	九州矯正歯科学会誌. 2020;15(1):51-56.	Case report
51	オノ木(古川)みなみ、前田綾、國則貴玄、他	矯正歯科	歯科矯正用アンカースクリューを用いて下顎歯列の遠心移動を行った骨格性Ⅲ級ローアングル症例.	九州矯正歯科学会誌. 2020;15(1):40-44.	Case report
52	小柳宏太郎、前田綾、石畑清秀、他	矯正歯科	外科的矯正治療により下顎運動が改善した前歯部叢生と下顎前歯の著しい舌側傾斜を伴う骨格性下顎前突症例.	Orthodontic Waves-Japanese Edition 2020 ;79(1):20-26.	Case report
53	星加知宏、勝俣愛一郎、丁群展、他	保存科	新規覆髄剤の細胞増殖ならびに象牙質剪断接着強さへの影響について.	日本歯科保存学雑誌. 2019.8;62(4): 208-214	Original Article
54	白方良典	歯周病科	生体材料と生理活性物質を応用したIn situ歯周組織再生アプローチに関する研究	日本歯周病学会誌, 2019;61(3):114-126	Review
55	村上格、古地美佳、秋葉陽介、他	義歯補綴科	歯科補綴学専門用語集第5版における改訂のポイント	日補綴会誌 2019.11(4): 309-314	Others
56	折田有史、小林裕明	周産母子センター	シュレション教育は避地での母体救命率向上に寄与する救命できた心停止2例の経験から	産婦人科の実際. 2020 Jan ;39(1): 69-75	Case report
57	折田有史、太崎友紀子	周産母子センター	血友病A保因妊婦への遺伝カウンセリングの経験	鹿児島産科婦人科学会雑誌. 2020 Mar ;28: 45-48	Case report
58	速見浩士	血液浄化療法部	【Nicheな前立腺炎の全容に迫る!】慢性前立腺炎/慢性骨盤痛症候群 慢性前立腺炎/慢性骨盤痛症候群に対する治療 薬物療法	臨床泌尿器科 73(12): 906-909. 2019.	Others
59	田口則宏	歯科総合診療部	診療参加型臨床実習後臨床能力試験 鹿児島大学トライアル実践例	日本歯科医学教育学会雑誌 2019 Dec, 35(3): 14-15	Original Article

小計14件

計59件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 倫理委員会設置者の責務、倫理委員会の役割・責務、倫理委員会の構成・業務・運営、記録の保存、調査・審議の受託、外部倫理審査委員会の利用、守秘義務等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 目的、定義、委員会の設置、申告書の提出、指導等、異議申立て、情報開示等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年3回
・ 研修の主な内容 1. 本学発のがんへのウイルス医薬の開発の現状と本学の医歯学シーズの開発支援への展望 2. 臨床研究法と特定臨床研究について 3. 南九州先端医療開発センター第2回シンポジウム	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

医師として共通に求められている基礎的知識、技術、マナー等の修得を目指したいいわゆる初期臨床研修（2年間）を修了した医師は、その後も引き続き研修を行うことになるが、（各診療科により異なるが通算して概ね5～6年の研修期間）その間、各科の指導医のもと入院患者及び外来患者の診療に従事するとともに、症例検討会、抄読会並びに種々のカンファレンス等に参加することにより一層の研鑽を行うことはもとより、地域のメディカルセンターとしてより先端的な医療の開発、研究を行っているとともに、それぞれの専門的な高度の知識と技術の修得に努めている。

また、それぞれの科の標榜するための条件となる各科関連学会の定める専門医、認定医の資格取得のための指導体制も十分に整っている。

その他、日進月歩の医学の世界において医師の生涯学習の観点から、地域の病院との連携を促進し地域医療の発展に寄与することを目的とした「研修登録医」制度を設け、本学大学病院において病棟回診、症例検討会その他の研究会並びに患者の診療等に参加することを通じて、先端的な知識や技術を修得するために1年間の研修を行っている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	134 人
-------------	-------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
大石 充	心臓血管内科	部門科長	30年	
井本 浩	心臓血管外科	部門科長	40年	
井戸 章雄	消化器内科	部門科長	36年	
夏越 祥次	消化器外科	部門科長	39年	
高嶋 博	脳神経内科	部門科長	30年	
吉本 幸司	脳神経外科	部門科長	25年	
井上 博雅	呼吸器内科	部門科長	35年	
佐藤 雅美	呼吸器外科	部門科長	38年	
浅川 明弘	心身医療科	部門科長	26年	
中川 昌之	泌尿器科	部門科長	39年	
石塚 賢治	血液・膠原病内科	部門科長	31年	
西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	部門科長	35年	
中村 雅之	神経科精神科	部門科長	24年	
河野 嘉文	小児科	部門科長	39年	
家入 里志	小児外科	部門科長	26年	
小林 裕明	産婦・婦人科	部門科長	35年	
谷口 昇	整形外科・リウマチ外科	部門科長	17年	
金蔵 拓郎	皮膚科	部門科長	36年	
坂本 泰二	眼科	部門科長	35年	
黒野 祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	部門科長	40年	
吉浦 敬	放射線科	部門科長	31年	
上村 裕一	麻酔科	部門科長	40年	

杉村 光隆	歯科麻酔科	部門科長	33年
下堂 蘭 恵	リハビリテーション科	部門科長	31年
於保 孝彦	口腔保健科	部門科長	37年
宮脇 正一	矯正歯科	部門科長	32年
山崎 要一	小児歯科	部門科長	37年
西谷 佳浩	保存科	部門科長	24年
野口 和行	歯周病科	部門科長	34年
南 弘之	冠・ブリッジ科	部門科長	30年
西村 正宏	義歯補綴科	部門科長	26年
杉浦 剛	口腔外科	部門科長	29年
中村 典史	口腔顎顔面外科	部門科長	38年
橋口 照人	検査部	部長	34年
垣花 泰之	救命救急センター(救急科)・集中治療部	部長	34年
古川 良尚	輸血・細胞治療部	部長	36年
中川 昌之	血液浄化療法部	部長	39年
谷本 昭英	病理部	部長	32年
田口 則宏	歯科総合診療部	部長	26年
川村 英樹	感染制御部	副部長	20年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

研修の主な内容	期間	回数(回)	参加人数(人)
腎移植に関する研修	令和元年度	3	15
泌尿器科癌看護マネージメント	令和元年度	1	15
鹿児島県母性衛生学会	令和元年度	1	150
インプラントカンファレンス	令和元年 4 月 8 日～令和 2 年 3 月 16 日	10	30
鹿児島大学病院歯科インプラント研修会	令和元年 4 月 24 日～令和 2 年 3 月 18 日	12	31
鹿児島大学公開講座 第 3 回摂食嚥下リハビリテーション研修講座	令和元年 9 月 4 日～11 月 20 日	8	60
HIV 感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の環境整備事業	令和元年 9 月 5 日～9 月 20 日	6	5

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

研修の主な内容	期間	回数(回)	参加人数(人)
インプラント専門外来担当者会議	令和元年 4 月 8 日～令和 2 年 3 月 16 日	12	36
補綴科合同連絡会	令和元年 4 月 11 日～令和 2 年 3 月 12 日	11	45
新規放射線取扱者教育訓練 1 回目	令和元年 5 月 27 日～28 日	1	80
新規放射線取扱者教育訓練 2 回目	令和元年 6 月 27 日～28 日	1	50

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

研修の主な内容	期間	回数(回)	参加人数(人)
鹿児島産科婦人科学会	令和元年度	2	130
鹿児島大学病院歯科インプラント研修会	令和元年 4 月 24 日～令和 2 年 3 月 18 日	12	47

矯正歯科治療	令和元年6月1日～7月21日	4	4
HIV感染症研究会	令和元年6月8日	1	30
第418回 病院薬物療法研修会	令和元年6月18日	1	80
在宅訪問看護ステーションを対象としたHIV感染症出張研修会	令和元年6月29日	1	6
鹿児島大学公開講座 第3回摂食嚥下リハビリテーション研修講座	令和元年9月4日～11月20日	8	69
HIV感染症研究会医療講習会	令和元年10月4日	1	70
HIV感染症研究会	令和元年11月9日	1	30
口腔機能低下症への対応	令和2年2月8日	1	54

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
管理責任者氏名	病院長 坂本 泰二	
管理担当者氏名	各診療センター部門科長 看護部長 (市村カツ子) 医務課長 (宮野英彦)	医療情報部長 (宇都由美子) 臨床技術部長 (弓場裕之) 薬剤部長 (武田泰生) 総務課長 (中村智子)

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	病院日誌	総務課	
		各科診療日誌	各センター、部門科	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	電子カルテ。スキャン文書/医療情報部診療情報管理室 (病歴室)	
		看護記録	電子カルテ。スキャン文書/医療情報部診療情報管理室 (病歴室)	
		検査所見記録	電子カルテ。スキャン文書/医療情報部診療情報管理室 (病歴室)	
		エックス線写真	医療情報部・放射線部/PACS保管	
		紹介状	医療情報部診療情報管理室 (病歴室)	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
		高度の医療の提供の実績	医務課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医務課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医務課 薬剤部	
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医務課	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医務課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医務課	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医務課	
				(1) 診療記録に関する諸記録は、2007年以降の外来及び入院分から電子カルテに保管している。 (2) 一部の諸記録 (紹介状、同意書等) については、1患者1ID番号により、外来ホルダー、入院ホルダーにわけて定められた保存期間に基づき、一括管理している。 (3) 保管期間を超過した紙媒体の診療諸記録は、廃棄ルールに基づき、原則廃棄している。 (4) エックス線フィルムは、2013年からCT、MRI、RI、一般撮影、透視、血管造影等は、デジタル画像として院内サーバにて保存している。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医務課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医務課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医務課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医務課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床技術部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床技術部
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床技術部		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報部
		医療安全管理部門の設置状況	医務課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医務課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医務課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	総務課 医務課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医務課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	総務課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課 医務課
管理者が有する権限に関する状況	総務課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 坂本 泰二	
閲覧担当者氏名	総務課長 中村 智子	
閲覧の求めに応じる場所	総務課	
閲覧の手続の概要		
閲覧場所を設置しており、要求があった場合には対応できる状況である。		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 主旨(2) 安全管理に関する基本的考え方(3) 組織に関する基本的事項(4) 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針(5) 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針(6) 医療事故等発生時の対応に関する基本方針(7) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針(8) 患者等からの相談への対応に関する基本方針(9) その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無 (有・無)</p> <p>・ 開催状況：年 1 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 医療の安全管理体制の確保に関する事(2) 医療に関する安全管理指針に関する事(3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関する事(4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関する事(5) その他医療の安全管理等に関する事	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の内容 (すべて)：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 医療安全と感染対策に向けた英知の結集 2019(2) 『知らなかった』・・・ではすまない！報道事例から学ぶ医療安全のツボ～医薬品に関連することを中心に～(3) 利用しよう！医療安全管理自己チェックシート	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 医療環境の変換に対応するため、医療安全管理マニュアルを随時改訂した。(2) 医療安全活動強化月間 (6月・11月) を設定した。(3) 医療安全強化月間およびリスクマネージャー連絡会議等でのインシデント (1) レベル0、1報告の推奨を行った。また、総報告件数の引き上げ、リスクマネージャーの業務負担軽減等を目的とし、安全管理者研修受講済みの副師長に限定したリスクマネージャーコメント入力権限の拡大を実施した。	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	○有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> I 趣旨 II 院内感染対策の基本指針 III 組織体制 IV 職員の教育及び研修 V 報告に関する基本方針 VI 対応に関する基本方針 VII その他 VIII 閲覧 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 4 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>本院における院内感染対策に関する発生状況や抗菌薬使用量を含む実施状況の情報共有、および問題の原因分析、改善策を審議し、諸施策等の策定等を行う。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 1 0 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ul style="list-style-type: none"> 第 1 回 「必要な感染対策の知りかた・見かた・手指衛生」 第 2 回 「医療安全と感染対策に向けた英知の結集 2019」 第 3 回 「結核」 第 4 回 「薬剤耐性（AMR）対策」 第 5 回 「経路別予防策」 第 6 回 「抗菌薬の適正使用」 第 7 回 「インフルエンザ」 第 8 回 「感染性胃腸炎」 第 9 回 「多剤耐性アシネトバクター検出事例の終息及び新型コロナウイルスへの対応について」 第 1 0 回 「多剤耐性アシネトバクター検出事例の終息及び新型コロナウイルスへの対応について」 - 2 回目 - <p>※研修会当日に参加できなかった職員のために、録画放映による研修会を別途実施している。その他に新規採用者・中途採用者・清掃業者・調理従事者向けの研修会を実施した。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (○有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 伝播リスクの高い感染症発生時や耐性菌保有リスクの高い海外医療機関歴のある患者や過去の耐性菌検出者の入院時に部署から感染制御部に報告 (2) 注意すべき病原体の検出時に検査部から ICT に報告 (3) 週 1 回検査部から病棟別主要注意菌検出状況をまとめた感染情報レポートを ICT に提出 (4) 重大な感染事例の発生時は感染制御部から病院長に報告 (5) ICT スタッフ会議、感染症対策委員会において報告 (6) リスクマネージャー連絡会議を通じて院内に周知 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る
措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 3 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>2019/4/2 新規採用者ガイダンス（医師） 88人 2019/4/3 新規採用者ガイダンス（歯科） 33人 2019/4/5 研修医ガイダンス 40人 2019/4/8 再採用者研修 67人 2019/5/8 看護部新規採用者研修会 51人 2019/5/27 術前に休薬を要する薬剤・周術期の使用に注意を要する薬剤について B4病棟看護師 12人 2019/7/17 術前に休薬を要する薬剤・周術期の使用に注意を要する薬剤について B5病棟看護師 10人 2019/9/9 睡眠薬と鎮静薬について C7病棟看護師 11人 2019/9/13 ガンマ計算を用いる薬剤について（強心薬） C6病棟看護師 14人 2019/9/25 血管外漏出に注意すべき薬剤に関して B2病棟看護師 10人 2020/1/7 医療安全研修会（「麻薬の取扱い・管理について」） 126名 2020/1/27 向精神薬について C2・B7病棟看護師 20人 2020/2/20 HIV感染症 B2病棟看護師 3人</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医薬品の採用について 2 医薬品の購入について 3 調剤室における医薬品の管理について 4 病棟・各部門への医薬品の供給について 5 外来患者への医薬品使用について 6 在宅患者への医薬品使用について 7 病棟における医薬品の管理について 8 入院患者への医薬品使用について 9 医薬品情報の収集・管理・提供について 10 手術・麻酔部門について 11 救急部門・集中治療室について 12 輸血・細胞治療部門について 13 生命維持管理装置領域について 14 臨床検査部門、画像診断部門について 15 歯科領域について 16 他施設との連携について 17 事故発生時の対応について 18 教育・研修について 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： 未承認薬：使用事例なし 適応外使用 パクリタキセル＋イホスファミド＋シスプラチン併用療法：陰茎がん ゲムシタピン＋ドセタキセル（GD）療法：再発骨肉腫 ゲムシタピン＋ドセタキセル（GD）療法：進行子宮肉腫 リツキシマブ：TARFQ症候群 シスプラチン＋ペメトレキセド：腹膜悪性中皮腫</p>	

リツキシマブ：自己免疫性溶血性貧血
注射用エンドキサン+ウロミテキサン：HLA半合致同種造血幹細胞移植後
イリノテカン+テモソロミド療法：難治性固形腫瘍
ケイツーシロップ：乳児ビタミンK欠乏性出血予防
5-FU+シスプラチン：陰茎癌
アムルピシン療法：前立腺癌
ドセタキセル点滴静注：乳房外パジェット病
オクトレチオド：麻痺性イレウス
ハーセプチン：唾液腺導管癌
ギルテリチニブ：小児の再発/難治性のFLT3遺伝子変異陽性急性骨髄性白血病
ネクサバル：再発骨肉腫（再発・転移骨肉腫）
レトロゾール：レトロゾールによる排卵誘発
アピガン錠：新型コロナウイルス感染症
オルベスコ：新型コロナウイルス感染症

その他の改善のための方策の主な内容：

医薬品情報の周知状況の確認を徹底するために、DIニュースについては、毎月の発行分を医療安全委員会に報告し、リスクマネージャ連絡会議にて全職員への再周知を依頼し、各部署より情報確認済み署名記載用紙を回収している。

緊急安全性情報（イエローレター）ならびに安全性速報（ブルーレター）が発出された場合には、院内通知文書や院内メール、院内イントラネット、病棟担当薬剤師による情報提供、当該医薬品を使用している患者カルテへの記載を行う等、様々な方法で情報提供を行い、情報発信時に情報確認済み署名記載用紙を回収し、回収することとしている。

過去に適応外使用として臨床倫理委員会にて承認された医薬品ならびに化学療法委員会にて承認された医薬品については、該当診療科の使用ならびに該当患者への使用を確認している。

一般医薬品については、これまで、適応外処方については疑義照会として実施し、また、禁忌については、電子カルテ上での警告表示ならびに疑義照会として実施し処方変更を依頼している。

現在、適応外使用・禁忌に対する使用については、未承認新規医薬品等評価部門へ申請し許可を得られなければ使用できない体制を構築しており、病棟薬剤師ならびに調剤する薬剤師は、適応外・禁忌に関する処方を発見した際には、処方医に未承認新規医薬品等評価部門への申請が必要な旨を伝え、あわせて、未承認新規医薬品等評価部門長である、医薬品安全管理責任者へ報告する。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 10 回
・ 研修の主な内容： 人工心肺装置（補助循環装置を含む）研修会（6月、12月） 人工呼吸器研修会（7月、3月） 血液浄化療法研修会（5月、12月） 除細動器研修会（7月、3月） 閉鎖式保育器研修会（7月、8月）	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 人工心肺装置及び補助循環装置（年1回） 人工呼吸器（年1回） 血液浄化療法装置（年1回） 除細動器（年1回） 閉鎖式保育器（年1回）	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 全医療職員を対象とした講習会（年2回） 人工呼吸器と除細動器の安全管理、医療ガスの安全使用について 除細動器および人工呼吸器の安全管理 ～事例から学ぶ～ ・ 医療機器安全管理検討委員会およびME機器センター運営委員会での情報周知 酸素残量の確認不足 誤接続防止コネクタの導入について（経腸栄養分野、神経麻酔分野） 人工呼吸器 V60 自主回収 誤った接続による気管・管切開チューブ挿入中の呼気の妨げ	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 9 条の 20 の 2 第 1 項第 1 号から第 1 3 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・ 責任者の資格 (医師・歯科医師)</p> <p>・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療に関する安全管理のための指針を令和1年6月10日一部改訂し、従来の医療環境安全部を医療安全管理部と感染制御部に改組し、各部門の機能強化を図った。その上で医療安全管理責任者に病院長補佐(安全管理担当:医科)を充て、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括させることとしている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(9名)・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品情報室にて情報を収集・整理し、DI ニュースとして発行している(平成 31・令和元年度の DI ニュース発行回数:79 回)。また、平成 28 年 10 月より、1 ヶ月の周知状況を医療安全委員会に報告し、リスクマネージャ連絡会議にて全職員への再周知を依頼し、各部署より情報確認済み署名記載用紙を回収している。</p> <p>緊急安全性情報(イエローレター)ならびに安全性速報(ブルーレター)が発出された場合には、情報発信時に情報確認済み署名記載用紙を回覧し、回収している。(直近では令和元年 5 月にページニオ錠のブルーレターが発出されている)</p> <p>医薬品・医療機器安全情報に掲載されている医薬品については、当該医薬品を投与している患者を抽出し、当該医薬品を投与している患者の主治医に対し、病棟担当薬剤師より、電子カルテにて情報提供を行い、該当患者一覧表を保存している。(平成 31・令和元年度の医薬品・医療機器安全情報の該当医薬品の処方医への周知:291 回、106 薬剤、該当患者 291 名)</p> <p>・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>過去に適応外使用として臨床倫理委員会にて承認された医薬品ならびに化学療法委員会にて承認された医薬品については、該当診療科の使用ならびに該当患者への使用を確認している。</p> <p>一般医薬品については、これまで、適応外処方については疑義照会として実施し、また、禁忌については、電子カルテ上で警告表示している。警告を突破して禁忌薬が処方された場合は、疑義照会を実施し、処方変更を依頼している(警告を突破して禁忌薬が処方された場合、調剤支援システムにより、処方箋に禁忌薬が処方されている旨が出力されるため、初回出力時に疑義照会している)。</p>	

現在、適応外使用・禁忌に対する使用については、未承認新規医薬品等評価部門へ申請し許可を得られなければ使用できない体制を構築しており、病棟薬剤師ならびに調剤する薬剤師は、適応外・禁忌に関する処方を見つけた際には、処方医に未承認新規医薬品等評価部門への申請が必要な旨を伝え、あわせて、未承認新規医薬品等評価部門長である、医薬品安全管理責任者へ報告している。

・担当者の指名の有無 有 ・無

・担当者の所属・職種：

(所属：薬剤部 ， 職種 薬剤部長) (所属： 薬剤部 ， 職種 副薬剤部長)

(所属：薬剤部 ， 職種 医薬品情報主任) (所属： 薬剤部 ， 職種 病棟薬剤業務管理主任)

(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)

(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況

有 ・無

・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有 ・無)

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認及び指導の主な内容：
インフォームドコンセント委員会において、診療科より提出された説明書がインフォームドコンセントマニュアルの規定にそったものであるかを確認、審査し、不足追加部分について指摘、訂正を促す。最終版を委員会で承認し、院内共通の文書として登録している。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

有 ・無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

診療記録の記載方法は、診療情報管理委員会で作成した「診療記録記載要領」に提示している。診療記録の記載内容の確認は、同委員会で作成した「診療記録監査・統計・分析要領」に従い、医療情報部診療情報管理部門で定期的に量的監査や整合性を確認した監査をおこなっている。また、診療記録監査 WG においては、多職種での監査も実施している。監査結果は、各診療科長および病棟医長、監査 WG 委員、診療記録委員会委員、歯科経営改善会議等で報告している。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（４）名、専任（ ）名、兼任（２）名 うち医師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（２）名 うち薬剤師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち看護師：専従（２）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>(注) 報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 医療安全を確保するための改善方策に関すること。(2) 医療安全に係る教育・研修事業の企画及び運営に関すること。(3) インシデントの分析に関すること及びインシデント分析部会開催に関すること。(4) インシデントに関する診療録や看護記録等への記載状況の確認・指導に関すること。(5) 患者や家族への説明等の対応状況の確認・指導に関すること。(6) 医療安全管理委員会の運営に関すること。(7) 院内各部門における医療安全対策の実施状況の評価に基づき、医療安全確保のための業務改善計画書を作成し、それに基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果を記録すること。(8) 医療安全管理委員会との連携状況、院内研修の実績、患者等の相談件数及び相談内容、相談後の取り扱いその他の医療安全管理者の活動実績の記録に関すること。(9) 医療安全に係る連絡調整に関すること。(10) その他医療安全対策の推進に関すること。 <p>・医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例 月 2 回の医療安全ラウンドにおいて、各部署の従事者に対して、あらかじめ医療安全に関する質問事項を決定し、回答や掲示状況を確認し、モニタリングしている。モニタリング状況は、医療安全管理委員会で報告し、リスクマネージャー連絡会議において全部署のリスクマネージャーに周知している。</p> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<p>・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（7 件）、及び許可件数（6 件）</p> <p>・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）</p> <p>・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）</p> <p>・活動の主な内容： 部門科等の長から申請が行われた内容を確認するとともに、高難度新規医療技術評価委員会に対し</p>	

で当該技術の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ適否等について決定し、部門科等の長に対し適否結果通知書により通知している。

実施された高難度新規医療技術に関し、定期的に、及び術後に患者が死亡した場合その他必要な場合には、診療録等の記載内容の確認を行い、従業者の遵守状況の確認を行っている。

高難度新規医療技術の提供の適否等について決定した時及び従業者の遵守状況を確認した時は、病院長に報告している。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 ・ 無)
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (有 ・ 無)

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数 (29 件)、及び許可件数 (23 件)
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (有 ・ 無)
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (有 ・ 無)
- ・ 活動の主な内容：
 - 未承認新規医薬品等使用の可否の審査
 - 未承認新規医薬品等評価部門にて使用が認められた医薬品の使用報告書の確認
 - 未承認新規医薬品等評価部門にて使用が認められた医薬品の使用後の有害事象等の発生の有無の確認
 - 未申請で使用されている未承認新規医薬品等の調査
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 ・ 無)
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (有 ・ 無)

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 166 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及

<p>び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 113 件</p> <ul style="list-style-type: none">・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容<ul style="list-style-type: none">A. 上記報告の状況の確認及び管理者への報告B. 概要の確認、調査・分析、改善方法の立案・検討を行う。
<p>⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">・他の特定機能病院等への立入り（<input checked="" type="radio"/>）（病院名：三重大学医学部附属病院）・無）・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（<input checked="" type="radio"/>）（病院名：東京大学医学部附属病院）・無）・技術的助言の実施状況<ul style="list-style-type: none">インシデント・アクシデント報告数の増加について、令和 1 年 11 月の医療安全強化月間を「0・1 レベル報告推進月間」に設定し、病院全体で活動推進を図った。また、同年に更なる報告数増加のため、以下の具体的対応策・数値目標の設定を行い、継続してインシデント・アクシデント報告数の増加に取り組んだ。<ul style="list-style-type: none">・ 3, 000 件以上への総報告数の引き上げ・ 影響度 0-1 レベルの報告割合を全体の 65% への引き上げ・ リスクマネージャーの業務負担軽減・ 副責任者への医療安全管理意識の向上
<p>⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p> <ul style="list-style-type: none">・体制の確保状況<ul style="list-style-type: none">患者相談窓口を設置し、寄せられた相談内容を把握、規則によって定められた者による医療相談室会議を開催し、対応するとともに、関係部署、安全部門へも協力を要請している。
<p>⑫ 職員研修の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">・研修の実施状況<ul style="list-style-type: none">新規で採用された医師、歯科医師、医療職員及び事務職員を対象に、4 月に初任者研修を実施し、受講させている。中途採用の職員に対しても、毎月 DVD による研修を実施し、受講させている。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者

- ・ 日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [継続] (R1. 10. 11)

医療安全管理責任者

- ・ 日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [継続] (R1. 10. 11)

医薬品安全管理責任者

- ・ 日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [継続] (R1. 12. 16)

医療機器安全管理責任者

- ・ 日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [継続] (R1. 10. 11)

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

規則第 7 条の 2 第 1 項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 附属病院長候補者の資格は、人格が高潔で、次に掲げる要件を全て満たす者とする。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 医師免許を有している者 (2) 医療安全確保のために必要な資質及び能力を有する者 (3) 病院の管理運営に必要な資質及び能力を有する者 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 鹿児島大学病院ホームページにおいて公表

規則第 7 条の 3 第 1 項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 鹿児島大学ホームページにおいて公表 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
馬場 昌範	鹿児島大学理事 (研究・国際担当)	○	病院長候補者選考委員会規則第 3 条第 1 項第 1 号に基づく理事	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
於保 孝彦	鹿児島大学 大学院医歯学総合研究 科長		病院長候補者選考委員会規則第 3 条第 1 項第 2 号に基づく大学院医歯学総合研究科長	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
河野 嘉文	鹿児島大学医学部長		病院長候補者選考委員会規則第 3 条第 1 項第 3 号に基づく医学部長	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
宮脇 正一	鹿児島大学歯学部長		病院長候補者選考委員会規則第 3 条第 1 項第 4 号に基づく歯学部長	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
鮫島 浩	宮崎大学医学部附属病 院長		病院長候補者選考委員会規則第 3 条第 1 項第 5 号に基づく学外の有識者	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無

			宮崎大学医学部附属病院長として、大学病院の経営・運営等について豊富な知見を有している。	
福元 紳一	鹿児島県弁護士協同組 合理事長、福元法律事 務所所長		病院長候補者選考委員会規則第3 条第1項第5号に基づく学外の有 識者 本学の経営協議会委員として、鹿 児島大学病院の経営についてご理 解いただいております、弁護士として 医療と法律に豊富な知見を有して いる。	有・無

規則第 9 条の 2 3 第 1 項及び第 2 項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>(1) 病院の管理運営、経営等に関する重要事項</p> <p>(2) 病院長候補適任者の選考に関する事項</p> <p>(3) その他病院長が必要と認める事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <p>当該合議体に参加した各所属長を通じて、各部署に伝達している。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/>有・無)</p> <p>・公表の方法</p> <p>鹿児島大学ホームページにより公表している。</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無 (<input checked="" type="radio"/>有・無)</p> <p>大学本部から、オブザーバーとして、理事、業務監査監事、会計監査監事が出席し意見を伺っている。</p>	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
坂本 泰二	○	医師	
石塚 賢治		医師	
杉浦 剛		歯科医師	
宇都 由美子		看護師	
家入 里志		医師	
井本 浩		医師	
又木 雄弘		医師	
市村 カツ子		看護師	
吉浦 敬		医師	
佐藤 雅美		医師	
小林 裕明		医師	
南 弘之		歯科医師	
西尾 善彦		医師	
西谷 佳浩		歯科医師	
高嶋 博		医師	
中村 典史		歯科医師	
吉本 幸司		医師	
松永 明		医師	
大石 充		医師	
井戸 章雄		医師	

大塚 隆生		医師	
井上 博雅		医師	
浅川 明弘		医師	
中川 昌之		医師	
中村 雅之		医師	
河野 嘉文		医師	
谷口 昇		医師	
金蔵 拓郎		医師	
山下 勝		医師	
上村 裕一		医師	
杉村 光隆		歯科医師	
下堂 菌 恵		医師	
宮脇 正一		歯科医師	
於保 孝彦		歯科医師	
山崎 要一		歯科医師	
野口 和行		歯科医師	
西村 正宏		歯科医師	
橋口 照人		医師	
垣花 泰之		医師	
新山 修平		医師	
古川 良尚		医師	
谷本 昭英		医師	
田口 則宏		歯科医師	
上野 真一		医師	
花谷 亮典		医師	
小賤 健一郎		医師	
西 順一郎		医師	
大脇 哲洋		医師	
竹元 明子		栄養管理士	
武田 泰生		薬剤師	
弓場 裕之		理学療法士	
仲井 精一		事務	

規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無 (有 ・ 無)
- ・ 公表の方法
鹿児島大学ホームページにより公表している。
- ・ 規程の主な内容
病院長は、病院の管理運営、経営等全ての事項について、意志決定の最終責任者として、業務を掌理する。
- ・ 管理者をサポートする体制 (副院長、院長補佐、企画スタッフ等) 及び当該職員の役割
副病院長
【役割】 医科総括、歯科総括

副病院長 (特命)
【役割】 経営分析・広報担当、経営戦略 (人事労務) 担当、経営戦略 (物品機器) 担当、経営戦略 (歯科) 担当、病院再開発担当、医療の質・待遇担当、災害対策担当、教育・研修担当、地域連携担当

病院長補佐
【役割】 歯科教育担当、診療 (医科・歯科) 担当、研究 (医科・歯科) 担当、病床管理担当、手術担当
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
一般社団法人国立大学病院長会議 第 2 回病院経営次世代リーダー養成塾 (R2. 2. 17)

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	①・無
<p>・監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務の状況について病院長等から報告を求め、又は必要に応じ自ら確認すること。</p> <p>(2) 必要に応じ、学長又は病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を述べること。</p> <p>(3) 前各号の業務について、監査報告書を学長に提出するとともに、監査結果を公表すること。</p> <p>・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（①・無）</p> <p>・委員名簿の公表の有無（①・無）</p> <p>・委員の選定理由の公表の有無（①・無）</p> <p>・監査委員会に係る内部規程の公表の有無（①・無）</p> <p>・公表の方法：</p> <p>鹿児島大学ホームページにより公表している。</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
後 信	九州大学病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
玉利 尚大	玉利法律事務所		法律に関する識見を有する者	無	1
三好 綾	NPO法人 がんサポート かごしま		医療を受ける者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

(1) 業務監査

① 人事事務処理状況に関する監査 (実地監査)

・労働基準法、労働安全衛生法等の遵守状況

実施時期 令和 2 年 11 月 2 日～令和 2 年 11 月 30 日

② 個人情報管理状況に関する監査 (実地監査)

・個人情報保護法等の遵守状況

実施時期 令和 2 年 10 月 1 日～令和 2 年 10 月 30 日

③ 法人文書管理状況に関する監査 (実地監査)

・公文書等の管理に関する法律等の遵守状況

実施時期 令和 2 年 10 月 1 日～令和 2 年 10 月 30 日

④ 情報セキュリティに関する監査 (実地監査)

i) 情報セキュリティに関する脆弱性診断

実施時期 令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 2 月 26 日

ii) 学内事務システムの情報セキュリティポリシー等の遵守状況に関する監査

実施時期 令和 2 年 12 月 1 日～令和 2 年 12 月 25 日

(2) 会計監査

① 契約、現金・資金管理、収入・支出、旅費、報酬、資産管理、未収債権及び公的研究費の会計処理状況等に関する監査

実施時期 (書面監査) 令和 2 年 6 月 1 日～令和 2 年 7 月 31 日

(実地監査) 令和 2 年 9 月 1 日～令和 2 年 9 月 30 日

・ 専門部署の設置の有無 (有 ・ 無)

・ 内部規程の整備の有無 (有 ・ 無)

・ 内部規程の公表の有無 (有 ・ 無)

・ 公表の方法

鹿児島大学ホームページにより公表している。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none">・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 経営協議会で病院の経営状況について確認を行う。・ 会議体の実施状況 (年 3 回)・ 会議体への管理者の参画の有無および回数 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) (年 3 回)・ 会議体に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 公表の方法 鹿児島大学ホームページにより公表している。			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 通報件数 (年 0 件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 周知の方法 鹿児島大学ホームページ及び鹿児島大学病院ホームページにより周知している。

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 公益財団法人 日本医療機能評価機構 2019年8月21日（水）・22日（木）・23日（金）	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 病院概要及病院ホームページにおいて、法令による医療機関の承認・公費負担医療等指定状況等について公表している。 また、ホームページにおいて、各診療科の特色を発信している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 救急患者及び複数疾患等においては、診療科を超えて連携して治療にあたっている。 医科歯科連携により、医科の病気で入院される患者さんに対し、適切な口腔ケアを徹底して行うことで、イレギュラーな入院の長期化を防ぎ、総体的な入院期間の短縮に貢献している。	